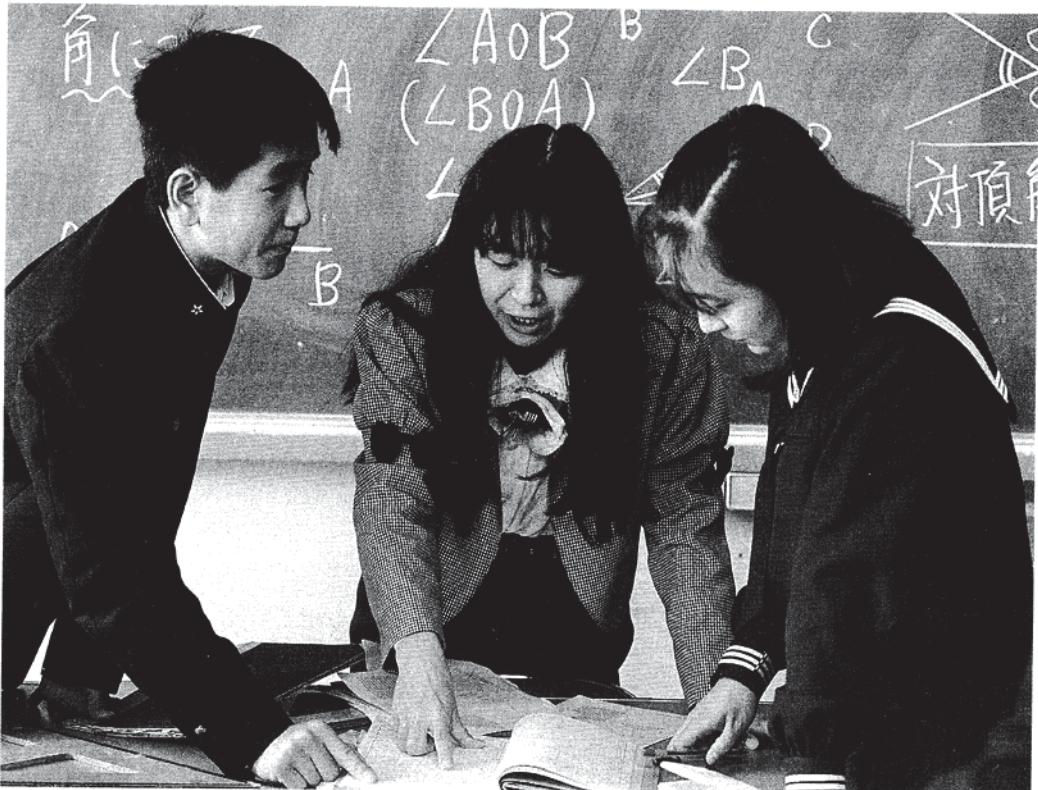


第IV章 属性による分析



一口に中学校教師といっても、性・年齢・地域などによって、果たすべき役割にはかなりの違いがある。教師としての指導観や悩みごと、自信などにも当然大きな違いがあろう。

この章では、属性別にみて、教師たちの意識にどのような違いがあるのか探ってみたいことにしたい。なお、ここでは各属性と関連の強い質問項目に限定して、分析を加える。

1. 男性教師と女性教師との比較

まず、男性教師と女性教師の意識の違いを理解しておきたい。表IV-1は、調査結果で特に男女差の大きな項目の結果を示したものである。ここでは4段階尺度の回答結果について、その平均値が示されている。数字が1.00に近づくほど、小さくなるほど、質問項目に「あてはまる」回答傾向であることを示している（以下、表IV-2～表IV-5の数値も同様である）。

結果をみると、まず女性教師では、望ましい生徒・クラスの状況として“規律統制”を求める意見がかなり強い。具体的には「チャイム着席が守られている」（女性1.64<男性1.80）、「授業の前後にあいさつができる」（女性1.75<男性1.89）などといった項目で特に値が小さくなっている。また、“集団協同”を求める項目の値も全体に小さく、例えば「生徒が互いに助け合っている」（女性1.22<

表IV-1 性別からみた特徴的な回答結果

設問内容	因子内容	因子	項目	男性 (901人)	女性 (651人)
望ましい生徒 ・クラスの状況	規律 統制	I 因子	1. 服装が乱れていない 2. チャイム着席が守られている 3. 生徒がきまりを守っている 4. 授業の前後にあいさつができる 5. 忘れ物がない 6. 教室の環境が整っている	1.9754 > 1.9721 1.8000 > 1.6471 1.8616 > 1.8485 1.8964 > 1.7581 1.8385 > 1.7149 1.6577 > 1.5008	
			1. 生徒が互いに助け合っている 2. 生徒が楽しそうだ 3. 生徒が先生とよく話をする 4. 男の子と女の子の仲がよい 5. クラスがまとまっている 6. クラスのリーダーがいる (#)	1.3675 > 1.2265 1.3106 > 1.2500 1.5641 > 1.4992 1.9052 > 1.8243 1.4643 > 1.3580 1.7272 > 1.5547	
			1. 若い先生が生徒をまとめられないことが多くなった 2. 生徒の体験が乏しくなった 3. 生徒のスケールが小さくなかった 4. 生徒のまとまりがないと思えることが多くなった 5. 家庭が荒れていると思えることが多くなった	2.2032 > 2.1363 1.8538 > 1.6754 1.9862 > 1.8257 2.1936 > 2.0980 2.2282 > 2.0374	
	※2 10年前 と比較 した生 徒等の 実態	生徒の 変質	II 因子	1. 学級経営がうまい 2. 保護者から信頼されている 3. 生徒から信頼されている 4. 進路指導がうまい 5. 子どもをひきつける話ができる	2.1601 < 2.3966 2.0402 < 2.1852 2.0246 < 2.1362 2.2204 < 2.5356 2.1250 < 2.4189
				1. 生徒が無気力で指導の甲斐がない 2. 生徒がしらけている 3. 生徒が騒がしくて授業を中断させられる 4. 生徒の考え方や行動についていけない 5. 生徒の学力の差が大きくて授業がやりにくい	3.0033 < 3.0046 2.9811 < 2.9923 3.4535 > 3.2412 3.0156 > 2.9048 2.5440 > 2.5261
教師と して必 要な力	柔軟な 指導能 力	I 因子	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の遅れた子に手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい (#)	1.6808 > 1.5978 1.5818 > 1.4730 2.0747 > 1.9875 1.4761 > 1.4083 1.8031 > 1.7377	
			1. 一緒に掃除をする 2. 給食の時間や掃除の時間、生徒と気軽に話をする 3. 教育相談に熱心に取り組む 4. 学級通信を出す 5. 自分で手本を示せる	1.8808 > 1.7191 1.6452 > 1.5285 1.7405 > 1.6785 2.4326 > 2.2407 1.8953 > 1.8272	

(注) 回答はすべて4段階尺度。数値は回答の平均値。数値が1.0000に近づくほど、「あてはまる」とを示す。※1はⅢ因子との関連も強いが省略。※2は10年以上の教職経験者のみ回答。※3は因子全体との関連は低いが提示している。(#)は重複する回答項目。

男性1.36)など、学級集団のまとまりを望む傾向が、男性教師より際立って強いといえる。その背景には生徒の実態に対する否定的な認識があるらしく、10年前と比較して「生徒の体験が乏しくなった」(女性1.67<男性1.85)など、「生徒の変質」が顕著だとする回答が目につく。女性教師はコントロールの難しさを感じとりやすく、教職への自信も乏しく、教師として必要な能力に関しても、個別な生徒に対処できる“柔軟で”“細心な”指導能力を望んでいるという結果である。全体にジェンダー（社会的な性役割）の差もあるた

めか、女性教師は生徒を統制していくストラテジーの修得に力点を置きやすいとみられる。

一方、男性教師はどうであろうか。簡略にまとめると、望ましい生徒・クラスの状況として学級集団のまとまりを求める傾向は乏しく、生徒の変質もあまり強くは感じていないようだ。生徒指導上の職能を必要と感じる傾向もかなり弱い。しかしながら、女性教師と違って、教職自体に対する自信は強く、例えば「学級経営がうまい」男性2.16<女性2.39である。

2. 若年教師と中年・熟年教師との比較

次いで、教職経験年数の差から、意識の違いを理解しておきたい。表IV-2は、経験年数5年未満と5~10年未満の2つの若年教師グループ、10~15年未満と15~20年未満の2つの中年教師グループ、20~30年未満と30年以上の2つの熟年教師グループという計6つの経験年数のグループを作り、回答傾向の違いをしたものである。

まず、若年教師では、望ましい生徒・クラスの状況として「生徒が楽しそうだ」(1~5年未満1.20〔最小値〕<30年以上1.37〔最大値〕)など、かなり自発的な“集団協同”を求める傾向が強く、逆に「テストの平均点がよい」など“業績”を求めるような現実的な目標には否定的な回答となっている。その反面、“学級の経営”をはじめとする教職への自信は乏しく、学校組織での“他の教師との協調”に悩み、「クラスの生徒をまとめることができる」ような“経営的能力”的必要性を痛感している。つまり、若年教師たちは、理想をかけながらも、現実的な教育指導能力の不足を強く認識しているともいえる。

一方、熟年教師はどうか。簡略にまとめれば、望ましい生徒・クラスの状況として“集団協同”を求める傾向は乏しく、成績の向上

といった現実的な目標に力点を置いている。また、近年の“生徒の変質”や“指導の困難さ”を実態として強く感じとってはいるものの、教職それ自体への悩みは少なく、むしろ現実的な経営指導の能力に強い自信をもっているとみられる。例えば、「学級経営がうまい」では20~30年未満教師2.04〔最小値〕に対して、1~5年未満教師2.85〔最大値〕である。こうした教師たちは、若年教師と反対に、理念とは離れて現実的な指導状況に適合しているということができよう。

最後に、中年教師たちにはどのような傾向があるのか。このグループは、全体に中間的な回答が多く、教職への悩みも自信もほどほどである。生徒の実態の変化によって指導が困難になっているとは考えておらず、その反面理想的な“集団協同”的指導目標にも否定的である。その点で、生徒との対応にギャップが少なく、柔軟に対応している教師たちではないかとみられる。

以上、教職年数から比較してみると、年数が増しキャリアが積み重なるごとに、現実的な指導ストラテジーを身につけ、教職への自信を増していくという傾向が認められる。

表IV-2 教職年数別にみた特徴的な回答結果

設問内容	因子内容	因子名	項目	1~5年未満 (135人)	5~10年未満 (295人)	10~15年未満 (359人)	15~20年未満 (199人)	20~30年未満 (267人)	30年以上 (297人)
				1. 生徒が互いに助け合っている	1.2519	1.2594	1.2905	1.3467	1.2932
望ましい生徒・クラスの状況	集団協同因子	Ⅱ 因子	2. 生徒が楽しそうだ	1.2000	1.2799	1.2207	1.3198	1.3008	1.3707
			3. 生徒が先生とよく話をする	1.4889	1.5085	1.5475	1.5930	1.5680	1.5101
			4. 男の子と女の子の仲がよい	1.8444	1.8225	1.8436	1.9799	1.8797	1.8847
			5. クラスがまとまっている (#)	1.3556	1.3003	1.3883	1.5126	1.4715	1.4966
			6. クラスのリーダーがいる (#)	1.5630	1.6280	1.6508	1.7789	1.6203	1.6757
業績	指導の困難因子	Ⅲ 因子	1. よくできる子が多い	2.9481	3.0239	2.9525	2.9849	2.8491	2.7041
			2. テストの平均点がよい	3.0593	3.0239	2.9860	3.0352	2.8000	2.6959
			3. 生徒指導上、問題がある生徒が少ない	2.1866	2.1672	2.0503	2.0302	2.0151	1.8986
			4. クラスのリーダーがいる (#)	1.5630	1.6280	1.6508	1.7789	1.6203	1.6757
			5. うるさくわなくてとも、生徒が動く	1.6296	1.6826	1.6173	1.7286	1.6541	1.6250
			6. 授業についていけない生徒が少ない	1.9333	1.8328	1.7737	1.8182	1.8371	1.7661
※10年前と比較した生徒等の変態	生徒の変質因子	Ⅰ 因子	1. 生徒がいうことをきかないことが多くなった			2.7898	2.6515	2.4792	2.3017
			2. 生活面で指導しづらくなった			2.4602	2.4213	2.2151	2.2365
			3. 生徒が何を考えているのか理解できないうことが多いなくなった			2.6989	2.5758	2.4566	2.2669
			4. 学習面で指導しづらくなった			2.7123	2.6818	2.6038	2.4932
			5. 保護者の協力が得にくくなった			2.5227	2.4697	2.3864	2.4088

<次ページへつづく>

設問内容	因子内容	因子	項目	1～5年未満 (135人)	5～10年未満 (295人)	10～15年未満 (359人)	15～20年未満 (199人)	20～30年未満 (267人)	30年以上 (297人)
教職への「自信」	学級の経営因子	因子I	1. 学級経営がうまい	<u>2.8582</u>	<u>2.4422</u>	<u>2.2458</u>	<u>2.1960</u>	<u>2.0458</u>	<u>2.0484</u>
			2. 保護者から信頼されている	<u>2.6074</u>	<u>2.3186</u>	<u>2.1173</u>	<u>2.0402</u>	<u>1.8943</u>	<u>1.8562</u>
			3. 生徒から信頼されている	<u>2.3926</u>	<u>2.1973</u>	<u>2.0866</u>	<u>2.0553</u>	<u>1.9472</u>	<u>1.9000</u>
			4. 進路指導がうまい	<u>3.1343</u>	<u>2.5932</u>	<u>2.3473</u>	<u>2.2613</u>	<u>2.1174</u>	<u>2.0309</u>
			5. 子どもをひきつける話ができる	<u>2.6296</u>	<u>2.3786</u>	<u>2.2849</u>	<u>2.2362</u>	<u>2.0679</u>	<u>2.0683</u>
教職上の「悩み」	他者との協調因子	因子II	1. 自分のやっていることが周囲の教師に認められない、	<u>3.0519</u>	<u>3.1186</u>	<u>3.1476</u>	<u>3.1759</u>	<u>3.2340</u>	<u>3.2939</u>
			2. 同じ学年や同じ教科の先生とトラブルがあるががあった	<u>3.3185</u>	<u>3.1797</u>	<u>3.2061</u>	<u>3.2172</u>	<u>3.2857</u>	<u>3.4426</u>
			3. 学校の方針と自分の教育観にズレがある	<u>2.7259</u>	<u>2.7653</u>	<u>2.7961</u>	<u>2.7688</u>	<u>2.8647</u>	<u>2.7804</u>
			4. 父母の協力が得にくい(#)	<u>2.9481</u>	<u>2.9110</u>	<u>2.9496</u>	<u>3.0050</u>	<u>3.0526</u>	<u>3.0980</u>
			5. 保護者との連絡に煩わしさを感じる	<u>2.8815</u>	<u>2.8933</u>	<u>2.9721</u>	<u>3.0355</u>	<u>3.0639</u>	<u>3.0541</u>
教師として必要な力	学級の経営能力因子	因子I	1. 問題を起こした生徒を適切に指導できる	<u>1.3333</u>	<u>1.3106</u>	<u>1.3473</u>	<u>1.3970</u>	<u>1.3872</u>	<u>1.4646</u>
			2. 学級経営がうまい	<u>1.3556</u>	<u>1.3435</u>	<u>1.3408</u>	<u>1.4975</u>	<u>1.4248</u>	<u>1.5172</u>
			3. クラスの生徒をまとめることができ	<u>1.2857</u>	<u>1.3401</u>	<u>1.3939</u>	<u>1.5176</u>	<u>1.4624</u>	<u>1.4558</u>
			4. 高校入試に役立つ授業をする	<u>2.1194</u>	<u>1.9762</u>	<u>2.0927</u>	<u>2.1457</u>	<u>2.1521</u>	<u>2.2475</u>
			5. 進路指導がうまい(#)	<u>2.8593</u>	<u>2.6599</u>	<u>2.5056</u>	<u>2.4774</u>	<u>2.5396</u>	<u>2.5034</u>

(注) 回答はすべて4段階尺度。数値は回答の平均値。数値が1.0000に近くほど、「あてはまる」ことを示す。下線最小値、破線最大値。
※は10年以上の教職経験者のみ回答。(#)は重複する回答項目。

3. 東京の教師と東北の教師との比較

もう一つ、教師の在住する地域の差についてもみておこう。本調査では、東京と東北地方の山形・宮城（仙台市を除く）・福島3県で被調査者を選択したが、教職員構成の違いもあり、東北地方に若年教師の偏る傾向があった。この点を加味したうえで結果をみてほしい（表IV-3）。

全体に、地域差の顕著にみとめられる設問内容は少ない。ただ、指導上の悩みについては、明らかに地域差があり、東京の教師が多くなっている。特に、「不登校の生徒がいる」（東京2.43<東北2.67）、「非行にはしる

生徒がいる」（東京2.67<東北2.91）など、生徒の問題行動に関する悩みはきわめて強く、また「生徒が無気力で指導の甲斐がない」（東京2.94<東北3.05）など、指導方法上の悩みも強い。都市化の進行は地方でも急激だとはいえ、依然として教育病理現象の発生には地域差があるらしく、東京での教育指導の困難さが強く認識される結果となっている。それに対して、東北の教師は“学級の経営能力”や“柔軟な指導能力”など、教師としての職能をより多く求める傾向があり、理念的な教育指導への期待感がうかがえる。

表IV-3 地域別にみた特徴的な回答結果

設問内容	因子内容	因子	項目	東京 (690人)	東北 (864人)
教職への「自信」	学級の経営	I 因子	1. 学級経営がうまい 2. 保護者から信頼されている 3. 生徒から信頼されている 4. 進路指導がうまい 5. 子どもをひきつける話ができる	2.2149 < 2.2927 2.0248 < 2.1616 1.9985 < 2.1267 2.2959 < 2.3972 2.2131 < 2.2733	
教職上の「悩み」	生徒の指導方法	I 因子	1. 生徒が無気力で指導の甲斐がない 2. 生徒がしらけている 3. 生徒が騒がしくて授業を中断させられる 4. 生徒の考え方や行動についていけない 5. 生徒の学力の差が大きくて授業がやりにくい	2.9402 < 3.0545 2.9230 < 3.0360 3.3149 < 3.4037 2.9347 < 2.9965 2.5036 < 2.5574	
	生徒の問題行動	III 因子	1. 不登校の生徒がいる 2. 非行にはしる生徒がいる 3. 問題をかかえる生徒に手を焼いている 4. 生徒の学力が上がらない 5. 父母の協力が得にくい (#)	2.4344 < 2.6740 2.6798 < 2.9163 2.8520 < 2.9722 2.5153 > 2.4901 2.9593 < 3.0244	
教師として必要な力	学級の経営能力	I 因子	1. 問題を起こした生徒を適切に指導できる 2. 学級経営がうまい 3. クラスの生徒をまとめることができ 4. 高校入試に役立つ授業をする 5. 進路指導がうまい (#)	1.3803 > 1.3709 1.4746 > 1.3591 1.4913 > 1.3516 2.2120 > 2.0454 1.8389 > 1.7244	
	柔軟な指導能力	II 因子	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の遅れた子に手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい (#)	1.6899 > 1.6105 1.5791 > 1.5017 2.0932 > 1.9941 1.4870 > 1.4151 1.8389 > 1.7244	

(注) 回答はすべて4段階尺度。数値は回答の平均値。数値が1.0000に近づくほど、「あてはまる」ことを示す。(#)は重複する回答項目。

4. 地域・性・経験年数別グループの比較

最後に、ここまでみてきた属性を組み合わせて、地域・性・経験年数別のグループを構成し、比較してみることにしたい。表IV-4は、東京の教師を性・経験年数（3段階）別に分け、その回答結果を示したものである。また同様に、表IV-5は、東北地方の教師を性・経験年数に分け、その結果を示したものである。ここでは十分な人数を確保できないグループもでてくるが、その点を考慮したうえで、特徴的な回答傾向をもつグループに絞って結果をみていきたい。

東京の場合、まず男性熟年教師に注目したい。この教師たちは10年前と比較した生徒の実態の変化を強く指摘しながらも、教職への悩みが少なく、もっとも強く自信をもっている。例えば「学級経営がうまい」という回答の指數値は、この教師たちが2.04と最小値を

示し、強い自信を示している。概して自分自身の職能に自信があるためか、教師の職能として“学級の経営能力”や“柔軟な指導能力”が必要だとも考えない。現在の学校生活にもっとも適応している教師たちといえよう。

この教師たちの対極にあるのは、女性若年教師である。彼女たちは、学級集団のまとまりを望ましいと考え、規律統制的な指導の目標を支持している。例えば「チャイム着席が守られている」という規律を求める回答の指數値は、このグループの教師たちが1.53と全体の最小値を示している。その背景には、経験の不足などから生じるとみられる教職への自信の欠如があり、“生徒指導の方法”に悩みをもち、“学級の経営能力”や“柔軟な指導能力”の修得を強く求めている。具体的にいえば、教師の力として「学級経営がうま

い」ことを必要とする回答の指数値は、この教師たちが1.29と全体の最小値を示して、もっとも強く必要性を認識している。こうみると、女性若年教師は生徒への現実的対処法をもっとも欠いている教師たちであるという見方もできる。

こうした2つの特徴的なグループと異なる回答傾向を示すのは、中年男性教師である。彼らは近年の“生徒の変質”や“指導の困難さ”をあまり強く感じていない。例えば、「生徒の体験が乏しくなった」という回答の指数値は、この教師たちが1.88と最大で、もっとも否定的である。また、“規律統制”的な指導の目標にも、もっとも否定的である（例えば、「授業の前後にあいさつができる」では2.01と最大値）。いわば現在の管理的な指導ストラテジーに対してもっとも消極的なグループであるといえよう。それでいながら、調査結果からみると、彼らは教職への自信も高く、学校生活にも適応性がみられる。現在30代とみられるこの層の教師たちは、統制的指導で現実を切り抜けることを是認するばかり

りではないだけに、今後の教育指導のイノベーションにとって重要な教師たちになる可能性もあるう。

以上みてきたような、性と年齢による特徴的な教師グループの回答傾向は、東北地域の教師でもほぼ同様である。ただし、東北地域の女性熟年教師では、若年教師以上に規律統制的な指導の目標を支持する傾向が強いといえる。この教師たちは、近年の生徒の変質や指導の困難さを強く認識しており、教師の職能においても“柔軟な指導能力”的修得を強く求めている（例えば、「生徒の悩みが理解できる」の指数値は1.36と全体の最小値）。すでに長い教職経験をもつと思われる熟年層でありながら、現状の教育指導へのとまどいは少なくないといえよう。

このような属性グループによる指導意識の違いは、教師の学校内でのポジションやキャリアの違いを反映しているとみられるだけに、今後の指導のストラテジーの革新をすすめるうえでも重要な資料となるだろう。

表IV-4 東京地域・性・教職年数別にみた特徴的な回答結果

設問内容	因子内容	因子	項目	男性			女性		
				若年教師 1~10年未満 (74人)	中年教師 10~20年未満 (185人)	老年教師 20年以上 (144人)	若年教師 1~10年未満 (47人)	中年教師 10~20年未満 (115人)	老年教師 20年以上 (123人)
望ましい生徒・クラスの状況	規律統制	I 因子	1. 服装が乱れていない 2. チャイム着席が守られている 3. 生徒がきまりを守っている 4. 授業の前後にあいさつができる 5. 忘れ物がない 6. 教室の環境が整っている	2.0676 1.7703 1.9459 1.9865 1.8108 1.5676	2.0541 1.8757 1.8703 2.0108 1.8486 1.6595	2.0000 1.7778 1.9034 1.9172 1.7448 1.6181	2.0213 1.5319 1.8723 1.8936 1.6596 1.6383	2.0783 1.6870 1.9386 1.8522 1.7826 1.4783	2.0000 1.6667 1.8537 1.8862 1.7480 1.4634
		II 因子	1. 生徒が互いに助け合っている 2. 生徒が楽しそうだ 3. 生徒が先生とよく話をする 4. 男の子と女の子の仲がよい 5. クラスがまとまっている (#) 6. クラスのリーダーがいる (#)	1.2432 1.2973 1.4595 1.9459 1.3649 1.7162	1.3459 1.2500 1.6270 1.9297 1.5514 1.8054	1.5310 1.3931 1.6000 1.9103 1.6181 1.7586	1.2979 1.1702 1.4894 1.8723 1.3404 1.4043	1.3217 1.2456 1.5304 1.9304 1.4696 1.6348	1.2764 1.2683 1.5366 1.8780 1.4180 1.6098
		III 因子	1. 生徒がいうことをきかないことが多い 2. 生活面で指導しづらくなかった 3. 生徒が何を考えているのか理解でき ないことが多い 4. 学習面で指導しづらくなかった 5. 保護者の協力が得にくくなった			2.7989 2.5054 2.7120 2.6576 2.4511	2.3586 2.2552 2.3310 2.5310 2.2828	2.5258 2.3036 2.6071 2.5495 2.3839	2.4146 2.2683 2.3984 2.4878 2.3008
		IV 因子	1. 若い先生が生徒をまとめられないこ とが多い 2. 生徒の体験が乏しくなった 3. 生徒のスケールが小さくなった 4. 生徒のまとまりがないと思えること が多くなかった 5. 家庭が荒れていると思えることが多 くなった			2.5217 1.8804 1.9836 2.2120 2.3201	2.2483 1.8472 1.8000 2.1241 2.1655	2.4685 1.7500 1.7658 2.0721 2.0631	2.2602 1.5902 1.7886 2.1382 1.9268
		V 因子							
		VI 因子							
※10年前 と比較 した生 徒等の 生変質	生徒の 生変質								

<次ページへつづく>

設問内容	因子内容	因子名	項目	男 性			女 性		
				若年教師 1~10年未満 (74人)	中年教師 10~20年未満 (185人)	老年教師 20年以上 (144人)	若年教師 1~10年未満 (47人)	中年教師 10~20年未満 (115人)	老年教師 20年以上 (123人)
教職への「自信」	学級経営因子	I	1. 学級経営がうまい 2. 保護者から信頼されている 3. 生徒から信頼されている 4. 進路指導がうまい 5. 子どもをひきつける話ができる	2.3108 2.3378 2.1622 2.5270 2.2027	2.1351 2.0541 2.0216 2.2000 2.1622	2.0423 1.7902 1.8169 2.0070 2.0280	2.8261 2.4255 2.2609 3.0213 2.6087	2.3739 2.1391 2.0696 2.5217 2.4174	2.1074 1.8017 1.9167 2.1488 2.1818
		II	1. 生徒が無気力で指導の甲斐がない 2. 生徒がしらけている 3. 生徒ががんばっている 4. 生徒の考え方や行動についていけない 5. 生徒の学力の差が大きくて授業がやりにくく	2.9595 2.8784 3.3784 3.4541	2.9439 2.8486 3.3125 2.9149	2.8671 2.9444 2.9149	3.0000 2.8836 3.1652	2.9298 2.9386 3.1652	2.3918 3.0325 3.3577
		III	1. 自分のやっていることが周囲の教師に認められない 2. 同じ学年や同じ教科の先生とトラブルがある 3. 学校の方針と自分の教育観にズレがある 4. 父母の協力が得にくい(#) 5. 保護者との連絡に煩わしさを感じる	3.0811 2.4521	3.0270 2.5514	2.8264 2.5594	3.0851 2.5532	2.9304 2.4261	2.7805 2.4390
	生徒の指導方法因子	IV	1. 問題を起こした生徒を適切に指導できる 2. 学級経営がうまい 3. クラスの生徒をまとめることができ 4. 高校入試に役立つ授業をする 5. 進路指導がうまい(#)	3.1351 3.0541	3.1676 3.1576	3.2847 3.3750	3.2340 3.5319	3.1217 3.1043	3.2276 3.2439
		V	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の選択肢を手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい(#)	2.7838 2.9054	2.9027 2.9293	3.0486 3.0000	3.0426 3.0213	2.8947 2.9823	2.8293 3.0732 3.0813
教職上の「悩み」	他者との協調因子	VI	1. 問題を起こした生徒を適切に指導できる 2. 学級経営がうまい 3. クラスの生徒をまとめることができ 4. 高校入試に役立つ授業をする 5. 進路指導がうまい(#)	1.3243 1.4324 1.5730	1.3838 1.5405 1.5655	1.4483 1.5655 1.5655	1.2553 1.2979 1.2128	1.3772 1.4174 1.4870	1.3821 3.2439 1.4309
		VII	1. 問題を起こした生徒を適切に指導できる 2. 学級経営がうまい 3. クラスの生徒をまとめることができ 4. 高校入試に役立つ授業をする 5. 進路指導がうまい(#)	2.1081 1.8243	2.2500 1.8919	2.3194 1.8828	2.0435 1.6383	2.0877 1.8087	2.2727 1.8279
		VIII	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の選択肢を手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい(#)	1.7432 1.6351 1.6324 2.0405 1.5135	1.7135 1.6351 1.6352 2.1730 1.5135	1.7517 1.6324 1.6352 2.1241 1.5724	1.5319 1.4894 1.4894 1.8936 1.3191	1.6957 1.5130 1.4754 2.1130 1.4522	1.6016 1.4754 2.0250 1.4309 1.8279
	柔軟な指導能力因子	IX	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の選択肢を手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい(#)	1.8243 1.8919	1.8243 1.8919	1.8828 1.6383	1.6383 1.6383	1.8087	1.8087
		X							

(注) 回答はすべて4段階尺度。数値は回答の平均値。数値が1,0000に近くほど、「あてはまる」ことを示す。下線最小値、破線最大値。
※は10年以上の教職経験者のみ回答。(#)は重複する回答項目。

表IV-5 東北地域・性・教職年数別にみた特徴的な回答結果

設問内容	因子内容	因子名	項目	男 性			女 性		
				若年教師 1~10年未満 (155人)	中年教師 10~20年未満 (179人)	老年教師 20年以上 (162人)	若年教師 1~10年未満 (154人)	中年教師 10~20年未満 (79人)	老年教師 20年以上 (133人)
望ましい生徒 ・クラスの状況	規律 統制	I 因子	1. 服装が乱れていない 2. チャイム着脱が守られている 3. 生徒がきまりを守っている 4. 授業の前後にあいさつができる 5. 忘れ物がない 6. 教室の環境が整っている	1.9351 1.8323 1.9459 1.8194 1.8581 1.7871	1.8771 1.7288 1.8703 1.7933 1.8771 1.8201	1.9686 1.7938 1.9034 1.8938 1.8625 1.6500	1.9200 1.6513 1.8723 1.6118 1.6974 1.5263	2.1026 1.6667 1.9386 1.7308 1.7308 1.5256	1.8209 1.6194 1.8537 1.6940 1.6567 1.4621
			1. 生徒が互いに助け合っている 2. 生徒が楽しそうだ 3. 生徒が先生とよく話をする 4. 男の子と女の子の仲がよい 5. クラスがまとまっている (#) 6. クラスのリーダーがいる (#)	1.3355 1.2903 1.5548 1.8258 1.3355 1.6452	1.3184 1.2626 1.5475 1.8436 1.3575 1.7039	1.3875 1.3861 1.5346 2.0000 1.5157 1.7188	1.1711 1.2237 1.4737 1.7632 1.2697 1.5789	1.1923 1.2692 1.5000 1.8590 1.2692 1.5128	1.1567 1.2836 1.4801 1.7164 1.3657 1.4851
			1. 生徒がいうことをきかないことが多い 2. なくなった 3. 生徒が何を考えているのか理解でき ないことが多い 4. 学習面で指導しづらくなかった 5. 保護者の協力が得にくくなった		2.8114 2.5143 2.6686 2.8457 2.6229 2.4938	2.3395 2.2037 2.4136 2.5432 2.4938		2.7468 2.3590 2.5570 2.6962 2.5316	2.4462 2.1832 2.2748
	指導の 困難	I 因子	1. 若い先生が生徒をまとめられないこ とが多い 2. 生徒の体験が乏しくなった 3. 生徒のスケールが小さくなった 4. 生徒のまとまりがないと思えること が多くなかった 5. 家庭が荒れていると思えることが多 くなかった		2.1371 1.8519 1.8571 2.1600 2.3086 2.2171		2.1266 1.8148 1.9444 2.0802 2.1491	2.1266 1.7215 2.0000 2.2152 2.1392	1.7481 1.6641 1.7863 2.0153 2.0305
※ 10年前 と比較 した生 徒等の 実態									<次ページへ><<

設問内容	因子内容	因子名	項目	男性			女性		
				若年教師 1~10年未満 (155人)	中年教師 10~20年未満 (179人)	老年教師 20年以上 (162人)	若年教師 1~10年未満 (154人)	中年教師 10~20年未満 (79人)	老年教師 20年以上 (133人)
教職への「自信」	学級の経営	I 因子	1. 学級経営がうまい 2. 保護者から信頼されている 3. 生徒から信頼されている 4. 進路指導がうまい 5. 子どもをひきつける話ができる	2. 4258 2. 3097 2. 2258 2. 5779 2. 2839	2. 1461 2. 0281 2. 0506 2. 2079 2. 1798	1. 9811 1. 8634 1. 9255 1. 9625 1. 9193	2. 7712 2. 5390 2. 3377 2. 9805 2. 7124	2. 4177 2. 2405 2. 2658 2. 5385 2. 4937	2. 0775 2. 0455 2. 0379 2. 2061 2. 1880
		II 因子	1. 生徒が無気力で指導の甲斐がない 2. 生徒がしらけている 3. 生徒が騒がしくて授業を中断させられる 4. 生徒の考え方や行動についていけない 5. 生徒の学力の差が大きくて授業がやりにくいくらい	3. 1290 3. 0129 3. 4258 3. 1290 2. 5419	3. 0838 3. 0670 3. 5642 3. 0503 2. 6089	3. 0000 3. 0870 3. 5155 2. 9938 2. 4938	2. 9805 2. 9286 3. 0779 2. 9675 2. 4870	3. 1266 3. 1013 3. 3671 2. 9114 2. 6329	3. 0379 3. 0451 3. 4286 2. 8571 2. 6165
教職上の「悩み」	生徒の指導方法	I 因子	1. 自分のやっていることが周囲の教師に認められない 2. 同じ学年や同じ教科の先生とトラブルがある 3. 学校の方針と自分の教育観にズレがある 4. 父母の協力が得にくい(#) 5. 保護者との連絡に煩わしさを感じる	3. 1226 3. 2581 2. 6710 2. 9156 2. 8903	3. 2123 3. 3687 2. 8156 3. 0615 3. 0447	3. 2919 3. 5123 2. 8323 3. 1118 3. 0741	3. 0130 3. 1753 2. 8301 2. 9605 2. 8506	3. 0633 3. 1266 2. 6923 3. 0256 3. 0506	3. 2481 3. 3008 2. 7313 3. 0672 3. 0927
		II 因子	1. 問題を起こした生徒を適切に指導できない 2. 学級経営がうまい 3. クラスの生徒をまとめることができない 4. 高校入試に役立つ授業をする 5. 進路指導がうまい(#)	1. 3097 1. 3742 1. 3419 1. 9742 1. 7419	1. 3631 1. 2905 1. 3464 2. 0168 1. 6993	1. 4907 1. 5287 1. 4717 2. 1500 1. 7950	1. 3421 1. 3203 1. 2848 2. 0196 1. 6928	1. 3077 1. 2692 1. 2564 2. 0385 1. 7051	1. 3731 1. 3258 1. 3334 2. 0752 1. 6992
	学級の経営能力	I 因子	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の遅れた子に手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい(#)	1. 5742 1. 5161 2. 0323 1. 4710 1. 7419	1. 6760 1. 5196 2. 0980 1. 4246 1. 6993	1. 6584 1. 5652 1. 9503 1. 3913 1. 7950	1. 5163 1. 4641 1. 9935 1. 4342 1. 6993	1. 6410 1. 5385 2. 0000 1. 3846 1. 7051	1. 6015 1. 4030 1. 8815 1. 3657 1. 6992
		II 因子	1. 生徒の自主性を尊重できる 2. 学習の遅れた子に手をさしのべる 3. 班別の指導がうまい 4. 生徒の悩みが理解できる 5. 進路指導がうまい(#)	1. 5742 1. 5161 2. 0323 1. 4710 1. 7419	1. 6760 1. 5196 2. 0980 1. 4246 1. 6993	1. 6584 1. 5652 1. 9503 1. 3913 1. 7950	1. 5163 1. 4641 1. 9935 1. 4342 1. 6993	1. 6410 1. 5385 2. 0000 1. 3846 1. 7051	1. 6015 1. 4030 1. 8815 1. 3657 1. 6992

(注)回答はすべて4段階尺度。数値は回答の平均値。数値が1. 0000に近づくほど、「あてはまる」ことを示す。下線最小値、破線最大値。

※は10年以上の教職経験者のみ回答。(#)は重複する回答項目。

コラム

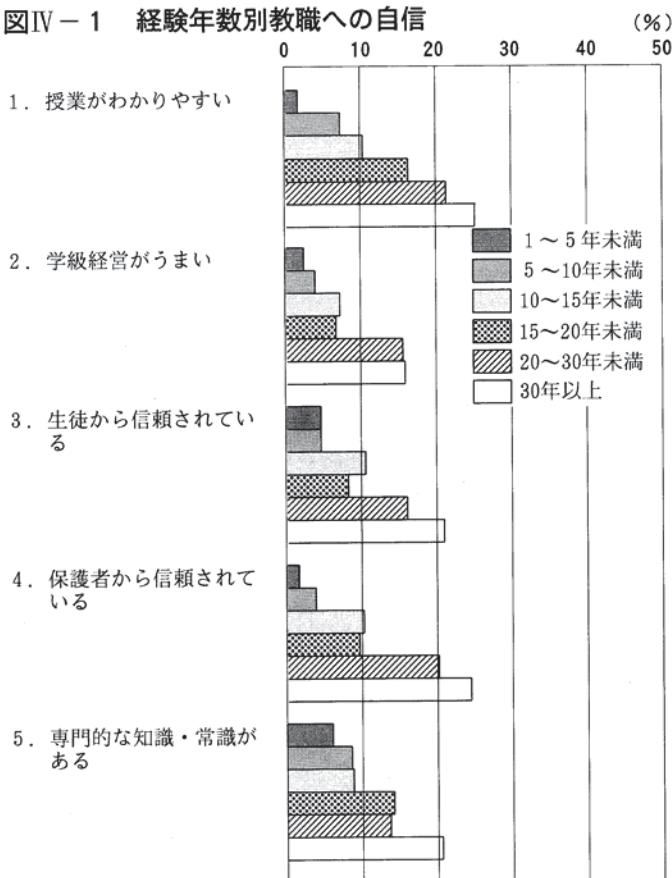
教師のキャリア

キャリア(career)とは、一般に個人が職業上たどっていく経歴のことであり、職業にまつわる経験を積み重ねることによって培われる能力の向上をも意味する。狭義には、職業上の昇進コースを示す。教師の場合には、何が教師の専門的能力なのかがコンセンサスを得られにくい面もあるため、職業経験を通して慣習的な職業文化のみが体得されがちだという指摘もある。急激な社会変動に伴って新たな指導能力が求められている現在、実際に現場での経験を通して、どのような教

師のキャリア形成がなされているのかを正確に理解することが必要とされている。

今回の調査でも、経験年数の違いによって指導の意識にはかなりの差がみられた。図IV-1は、教職への自信に関する設問のうちから特徴的な5項目を取り上げ、経験年数との対応をみたものである。これをみても明らかのように、経験年数が高くなればなるほど、教職への自信は高まっていく。しかしながら、こうした結果が、熟年教師のキャリア形成の成果であるのか、あるいは現状肯定的な意識のあらわれであるのかを正確に理解していく必要があろう。

図IV-1 経験年数別教職への自信



(注)「かなり自信がある」割合。
数値については巻末の基礎集計表をご参照ください。

おわりに

私たちは、中学校の教育をめぐるさまざまな問題状況の報道に接することが多い。非行、受験、登校拒否、そして大都市を中心とする公立中学の地盤沈下などなど。

もちろん、マスコミの報道は一面的なものであることが多いが、日頃の学校訪問の経験からしても、今日の日本の中学校の状況はなかなかに困難であり、それを担う教師の悩みと困惑はかなりのものと推察するのが自然のように思う。

ところが、今回の調査結果からすると、中学校の教師たちは、不登校などのケースを別にするなら、概してかなり自信があり、悩みも少ない。自信を生み出す鍵になるのは学級を単位とした生徒コントロールであり、授業なのだが、個別的な生徒指導や進路指導の力量といった近年必要性が強調される力量の重要性も、さほど高くは認識されてはいないという結果である。教育機器やパソコンの導入、習熟度別クラス編成や複数教師による指導といった、教育経営上のイノベーションを伴う指導力の再構築に対しても、教師たちは冷淡である。

指導のストラテジーとして「生徒の自主協同」が理想像としてあげられるものの、一方でてつとり早くコントロールする「規律統制」による指導を求める意見も根強いという点に困難な状況を反映する傾向がみられるが、今日の状況のもとでも中学校の教師たちがさ

ほど揺れておらず、自信をもって指導にあたっているとの調査結果は、やはりやや意外に感じられたことは事実である。

教師たちの意識が思ったより安定しており、危機感を感じていないのは、報道されるよりは中学校の実態が安定しているということなのか、それとも、教師たちの強固なもの見方の枠組みのほうに、より問題があるといえるのか。この問題をもう少し検討するためには、親や子どもからみた教師像、特に指導の対象である子どもからみた教師像と、今回のデータを重ね合わせる作業が必要であろう。

なお、最後につけ加えておきたいのは、この調査にあらわれた若い教師たちの動向である。第IV章で述べられたように、今回の調査結果を経験年数別にみると、若年教師ほど集団協同的な学級像を求め、自信に乏しく悩みが多い。若い女性教師は、規律統制を求め、自信に乏しい傾向もみられる。

また、若い教師たちのいわゆるプライバティゼーション（私事化）の動向も、さらに強まっている。近年の教員就職状況を反映して、特に東京では経験5年未満の若い教師はきわめて少ないが、このグループのこれからの動向を引き続き見守っていく必要があるように思われる。

終わりにあたり、お忙しいところ面倒な調査にご回答くださいました先生方には、末筆ではあるが、心からの感謝を申し上げたい。



アンケートのお願い

- お名前を書いていただく必要はありませんので、率直なご意見をお聞かせください。
- 記入していただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて封をした後、切手を貼らずに投函してください。
- ご多用のところ誠に恐縮ですが、9月3日までにご返送いただければ幸いです。

中学生問題研究会

代表：群馬大学助教授 永井 聖二

TEL.0272-32-1611(代) 内線551

宮城教育大学助教授 古賀 正義

TEL.022-214-3516(直通)

〈記入のしかた〉

(例) あなたは、月に何冊くらいの本を読みますか?

ほとんど読まない 1~3冊 4~5冊 それ以上
(もし3冊くらいだったら) 1 ————— ② ————— 3 ————— 4

● 資料1 調査票見本

① あなたは、次のようなことにどのくらい自信がありますか。

- | | かなり
自信がある | まあ
自信がある | あまり
自信がない | まったく
自信がない |
|---------------------------|--------------|-------------|--------------|---------------|
| ① 授業がわかりやすい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ② 生徒を一声で静かにできる…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ③ 学級経営がうまい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ④ 生徒の才能・適性を見抜くことができる…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑤ 生徒から信頼されている…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑥ 保護者から信頼されている…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑦ 専門的な知識・常識がある…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑧ ひとりの人間として魅力がある……… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑨ 進路指導がうまい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑩ 子どもをひきつける話ができる……… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |

② あなたは、これからどのようなことに力を入れていきたいとお考えですか。次のそれぞれについて答えてください。

- | | かなり
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | まったく
そう思わない |
|---------------------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| ① 授業をわかりやすくしたい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ② 学級活動を活発にしたい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ③ 部活動を活発にしたい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ④ 校務分掌で力を出したい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑤ 学校内外の研修に参加したい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑥ 行事を盛んにしたい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑦ 地域との連携をはかりたい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑧ 生徒に接する時間を増やしたい……… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |
| ⑨ 同僚の教師とのチームワークを深めたい…………… | 1 —————— | 2 —————— | 3 —————— | 4 |

● 資料1 調査票見本

- | | | | |
|-------------|------------|---------------|----------------|
| かなり
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | まったく
そう思わない |
|-------------|------------|---------------|----------------|
- ⑩ 自分の趣味の時間をもちたい……… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑪ パソコンや教育機器を授業や仕事に取り入れたい…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑫ 上手な進路指導がしたい…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑬ 生活指導に熟達したい…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

③ あなたは、次のような悩みをどのくらい感じていますか。

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|----------------|
| とても
感じている | かなり
感じている | あまり
感じていない | まったく
感じていない |
|--------------|--------------|---------------|----------------|
- ① 年間の授業時数が足りない…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ② 生徒が騒がしくて授業を中断させられる…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ③ 生徒がしらけている…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ④ 生徒の学力の差が大きくて授業がやりにくい…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑤ 忘れ物や宿題を忘れる生徒が多い… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑥ 授業の準備が十分にできていない… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑦ 生徒の考え方や行動についていけない…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑧ 問題をかかえる生徒に手を焼いている…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑨ 生徒が無気力で指導の甲斐がない… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑩ 部活動の指導が負担だ…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑪ 保護者との連絡に煩わしさを感じる…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑫ 校務分掌の仕事が多すぎる…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑬ 同じ学年や同じ教科の先生とトラブルがあった…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
- ⑭ 自分のやっていることが周囲の教師に認められない…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

● 資料1 調査票見本

- | | とても
感じている | かなり
感じている | あまり
感じていない | まったく
感じていない |
|---------------------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| ⑯ 学校の方針と自分の教育観にズレがある..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑰ 父母の協力が得にくい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑱ 不登校の生徒がいる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑲ 生徒の学力が上がらない..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑳ 非行にはしる生徒がいる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

④ 中学校の教師として、次のようなことはどのくらい必要だと思いますか。

- | | とても
必要 | わりと
必要 | あまり
必要でない | ぜんぜん
必要でない |
|-------------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| ① 高校入試に役立つ授業をする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 問題を起こした生徒を適切に指導できる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 学級経営がうまい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 学級通信を出す..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 給食の時間や掃除の時間、生徒と気軽に話をする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 教育相談に熱心に取り組む..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 一緒に掃除をする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 学校のきまりをきちんと守らせる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ クラスの生徒をまとめることがで
きる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 自分で手本を示せる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 生徒の悩みが理解できる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑫ 板書がうまい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬ 生徒と距離が保てる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑭ 生徒の自主性を尊重できる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑮ 班別の指導がうまい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑯ 学習の遅れた子に手をさしのべる… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑰ 進路指導がうまい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑤ もう少し、ご意見をうかがいます。

どんな生徒のようす、クラスのようすが望ましいとお考えですか。

	とても 重要	まあ 重要	どちらかと いえば 重要	あまり 重要では ない
① 生徒が楽しそうだ.....	1	2	3	4
② 授業中、私語がない.....	1	2	3	4
③ 授業についていけない生徒が少な い.....	1	2	3	4
④ 生徒が先生とよく話をする.....	1	2	3	4
⑤ 生徒がきまりを守っている.....	1	2	3	4
⑥ 伸びる子がどんどん伸びる.....	1	2	3	4
⑦ しっかりけじめがつけられる.....	1	2	3	4
⑧ 忘れ物がない.....	1	2	3	4
⑨ 先生を信頼する生徒が多い.....	1	2	3	4
⑩ クラスがまとまっている.....	1	2	3	4
⑪ 服装が乱れていない.....	1	2	3	4
⑫ 男の子と女の子の仲がよい.....	1	2	3	4
⑬ チャイム着席が守られている.....	1	2	3	4
⑭ 生徒指導上、問題がある生徒が少 ない.....	1	2	3	4
⑮ うるさくいわなくとも、生徒が動 く.....	1	2	3	4
⑯ 教室の環境が整っている.....	1	2	3	4
⑰ よくできる子が多い.....	1	2	3	4
⑱ クラスのリーダーがいる.....	1	2	3	4
⑲ テストの平均点がよい.....	1	2	3	4
⑳ 生徒が互いに助け合っている.....	1	2	3	4
㉑ 授業の前後にあいさつができる.....	1	2	3	4

● 資料1 調査票見本

⑥ 次の①～⑯のそれぞれの意見について、あなたはどのくらい賛成(反対)ですか。

	その意見に おおいに 賛成	どちらかというと 賛成	どちらかというと 反対	おおいに 反対
① 学級の生徒数は少なければ少ない ほどよい……………	1	2	3	4
② 結果より努力を評価したい……………	1	2	3	4
③ 個別学習を積極的に導入したい………	1	2	3	4
④ 服装の乱れは心の乱れだ……………	1	2	3	4
⑤ 集団のなかで生徒が助け合うこと が大切だと思う……………	1	2	3	4
⑥ 才能豊かな子をどんどん伸ばすの が教師の仕事だと思う……………	1	2	3	4
⑦ 一度生徒に任せたら、教師の意に 沿わない結果でも尊重したい……………	1	2	3	4
⑧ 習熟度別クラス編成を導入したい…	1	2	3	4
⑨ どんな場合でも体罰には反対であ る……………	1	2	3	4
⑩ 子どもの能力に大きなちがいはな い……………	1	2	3	4
⑪ 教師の仕事に終わりはない……………	1	2	3	4
⑫ 授業は成績が下位の生徒を中心に 進めたい……………	1	2	3	4
⑬ できる限り生徒を指名して授業を 進めたい……………	1	2	3	4
⑭ 教科書にこだわらず多様な教材を 使って授業をしたい……………	1	2	3	4
⑮ 複数の教師でクラスの指導をする…	1	2	3	4

⑦ 教師が指導力を高めるために、次のことはどれほど重要だとお考えですか。

	もっとも 重要	かなり 重要	どちらかと いうと重要	あまり 重要ではない
① 初任者研修の充実……………	1	2	3	4
② 世間の人たちの理解・協力……………	1	2	3	4

● 資料1 調査票見本

	もっとも 重要	かなり 重要	どちらかと いうと重要	あまり 重要ではない
③ 教師の教科についての専門的知識 の向上	1	2	3	4
④ 教師の人格を高めること	1	2	3	4
⑤ 教師が生徒の気持ちを理解するこ と	1	2	3	4
⑥ 教師集団の協力	1	2	3	4
⑦ 学級定員の削減	1	2	3	4

⑧ 10年前と比べて、次のように感じることがありますか。

(経験10年未満の方は、⑨へお進みください)

	しばしば 感じる	ときどき 感じる	あまり 感じない	まったく 感じない
① 生徒がいうことをきかないことが 多くなった	1	2	3	4
② 保護者の協力が得にくくなった	1	2	3	4
③ 生徒が何を考えているのか理解で きないことが多くなった	1	2	3	4
④ 家庭が荒れていると思えることが 多くなった	1	2	3	4
⑤ 学習面で指導しづらくなった	1	2	3	4
⑥ 生活面で指導しづらくなった	1	2	3	4
⑦ 生徒の学力差が大きくなった	1	2	3	4
⑧若い先生が生徒をまとめられない ことが多くなった	1	2	3	4
⑨ 生徒のまとまりがないと思えるこ とが多くなった	1	2	3	4
⑩ 部活動が不活発になった	1	2	3	4
⑪ 行事の指導が難しくなった	1	2	3	4
⑫ 生徒の体験が乏しくなった	1	2	3	4
⑬ 委員会活動が不活発になった	1	2	3	4
⑭ 生徒のスケールが小さくなった	1	2	3	4

● 資料1 調査票見本

⑨ 最後に、あなたご自身のことについてうかがいます。

(1) 性別（どちらかを○でかこんでください）

1. 男 2. 女

(2) 今年度を含めて、教職経験年数は何年になりますか。

教職についてから () 年

(3) あなたが担当しておられる教科は何ですか。

()

(4) あなたが教員免許状を取得したのは、どのような学校ですか。

次のなかから選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 教員養成大学・学部 4. 短期大学

2. 国公立大学（教員養成大学・学部を除く） 5. その他

3. 私立大学 ()

(5) あなたが、現在担当されている校務分掌は何ですか。

()

(6) あなたの現任校の生徒数は何人ですか。

約 () 人

⑩ あなたが、教師の指導力を高めるために重要だとお考えになっていることで、これまでの調査票のなかに示されていないことがありましたら、ご自由にお書きください。

長い間、ご協力ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、投函してください。]

● 資料 2 基礎集計表

● 資料 2 基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	サンプル数	全 体		東 京		東 北		性 別		経 驚		年 数	
		男	女	男	北	1 ~ 4 年	5 ~ 9 年	10 ~ 14 年	15 ~ 19 年	20 ~ 29 年	30 年以上		
教員	1,554	690	864	901	651	135	295	359	199	267	297		
1. かなり自信がある	14.2	20.1	9.7	15.6	12.3	1.5	7.1	10.1	16.1	21.1	24.9		
2. まあ自信がある	70.0	70.2	69.7	71.4	67.9	46.7	70.1	75.3	74.4	74.0	67.3		
3. あまり自信がない	14.9	9.3	19.3	12.4	18.4	45.9	21.4	14.0	9.5	4.9	7.8		
4. まったく自信がない	0.9	0.4	1.3	0.6	1.4	5.9	1.4	0.6	0.0	0.0	0.0		
生徒	1. かなり自信がある	25.3	26.7	24.2	32.0	16.0	8.9	20.3	26.5	19.6	35.7	30.8	
2. まあ自信がある	54.8	53.3	56.0	56.9	51.7	45.9	55.0	56.2	61.3	52.6	54.5		
3. あまり自信がない	18.3	18.2	18.3	10.5	29.2	39.3	22.7	15.6	18.6	11.3	13.7		
4. まったく自信がない	1.6	1.8	1.5	0.6	3.1	5.9	2.0	1.7	0.5	0.4	1.0		
う学校級	1. かなり自信がある	8.9	9.6	8.4	9.7	7.8	2.2	3.7	7.0	6.5	15.3	15.6	
い経営	2. まあ自信がある	58.7	61.2	56.7	65.6	49.1	22.4	50.7	63.1	68.4	66.0	64.7	
3. あまり自信がない	30.0	27.3	32.1	23.7	38.7	62.7	43.2	28.2	24.1	17.6	19.0		
4. まったく自信がない	2.4	1.9	2.8	1.0	4.4	12.7	2.4	1.7	1.0	1.1	0.7		
教員	1. かなり自信がある	8.0	7.9	8.1	8.0	7.9	3.7	3.4	5.9	7.0	12.4	13.7	
2. まあ自信がある	56.1	58.5	54.2	58.3	52.0	31.9	46.6	57.3	63.4	63.2	64.1		
3. あまり自信がない	34.0	31.6	35.8	32.1	36.6	58.5	46.6	36.0	28.1	23.3	21.2		
4. まったく自信がない	1.9	2.0	1.9	1.6	2.5	5.9	3.4	0.8	1.5	1.1	1.0		
被扶養者	1. かなり自信がある	11.3	13.9	9.4	12.8	9.1	4.4	4.4	10.3	8.0	15.8	20.7	
2. まあ自信がある	71.4	73.1	70.0	72.7	69.9	57.1	72.5	72.4	78.4	73.6	69.3		
3. あまり自信がない	16.1	12.3	19.1	13.7	19.3	33.3	22.1	15.6	13.6	10.6	9.3		
4. まったく自信がない	1.2	0.7	1.5	0.8	1.7	5.2	1.0	1.7	0.0	0.0	0.7		
の 自 信	1. かなり自信がある	12.4	15.5	10.0	13.6	10.8	1.5	3.7	10.1	9.5	20.0	24.3	
2. まあ自信がある	66.5	67.4	65.7	69.3	62.5	44.4	62.4	69.2	76.9	70.6	66.4		
3. あまり自信がない	19.7	16.2	22.4	16.5	24.1	46.0	32.2	19.6	13.6	9.4	8.6		
4. まったく自信がない	1.4	0.9	1.9	0.6	2.6	8.1	1.7	1.1	0.0	0.0	0.7		
被扶養者	1. かなり自信がある	12.2	14.0	10.8	15.2	8.0	6.0	8.5	8.7	14.1	13.6	20.5	
2. まあ自信がある	62.3	62.3	62.3	62.3	62.4	42.5	53.1	65.0	67.8	73.5	63.5		
3. あまり自信がない	23.9	21.9	25.5	21.2	27.7	46.3	35.0	24.3	18.1	12.9	16.0		
魅力	1. かなり自信がない	1.6	1.8	1.4	1.3	1.9	5.2	3.4	2.0	0.0	0.0	0.0	
2. まあ自信がある	7.3	8.4	6.4	8.5	5.6	4.5	8.8	7.3	4.0	6.8	9.8		
3. あまり自信がない	53.1	58.9	48.7	54.4	51.4	40.6	48.3	57.4	59.3	57.0	50.8		
4. まったく自信がない	37.5	31.1	42.4	35.5	40.2	48.9	39.5	34.2	35.2	35.1	38.0		

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全 体	東 京	東 北	性 別	経験年数			
					男	女	1~4年	5~9年
① 教職への自信	1. かなり自信がある	9.4	11.2	7.8	11.9	5.9	0.0	4.4
	2. まあ自信がある	49.9	51.7	48.9	56.2	41.3	11.2	35.9
	3. あまり自信がない	36.7	33.5	39.1	29.9	46.1	64.2	55.6
	4. まったく自信がない	4.0	3.6	4.2	2.0	6.7	24.6	4.1
	5. かなり自信がある	14.0	16.6	12.1	17.3	9.4	5.2	10.9
	6. まあ自信がある	50.3	47.8	52.4	55.0	44.0	36.3	45.4
	7. あまり自信がない	32.5	33.3	31.7	25.6	42.0	48.9	38.6
	8. まったく自信がない	3.2	2.3	3.8	2.1	4.6	9.6	5.1
	9. かなりそう思う	68.9	65.7	71.5	66.0	72.9	74.8	74.6
	10. まあそう思う	29.8	32.7	27.4	31.7	27.1	23.0	24.4
② 何に力を出し掌でいるか	11. あまりそう思わない	1.2	1.6	0.9	2.1	0.0	1.5	0.7
	12. まったくそう思わない	0.1	0.0	0.2	0.2	0.0	0.7	0.3
	13. かなりそう思う	51.9	46.4	56.5	47.0	58.8	62.2	61.9
	14. まあそう思う	44.6	49.2	40.8	48.4	39.3	34.1	36.7
	15. あまりそう思わない	3.4	4.4	2.6	4.6	1.7	3.0	1.4
	16. まったくそう思わない	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.7	0.0
	17. かなりそう思う	23.0	20.3	25.1	29.8	13.5	33.3	31.9
	18. まあそう思う	40.6	37.5	43.2	39.1	42.9	47.5	37.3
	19. あまりそう思わない	30.8	35.5	27.0	26.7	36.5	14.8	26.4
	20. まったくそう思わない	5.6	6.7	4.7	4.4	7.1	4.4	4.4
③ 何に力を出し掌でいるか	21. かなりそう思う	14.3	12.4	16.0	18.0	9.2	5.2	11.2
	22. まあそう思う	48.6	47.7	49.2	49.4	47.4	51.9	47.1
	23. あまりそう思わない	33.5	36.0	31.4	29.4	39.2	37.0	38.3
	24. まったくそう思わない	3.6	3.9	3.4	3.2	4.2	5.9	3.4
	25. かなりそう思う	24.4	23.5	25.2	22.3	27.4	25.9	19.7
	26. まあそう思う	44.9	42.8	46.6	42.1	48.8	40.7	47.6
	27. あまりそう思わない	26.0	27.9	24.4	30.4	19.8	30.4	26.2
	28. まったくそう思わない	4.7	5.8	3.8	5.2	4.0	3.0	6.5
	29. かなりそう思う	15.2	17.7	13.3	16.9	12.9	18.6	18.3
	30. まあそう思う	44.7	45.7	43.8	44.4	45.0	38.5	45.5
④ 何に力を出し掌でいるか	31. あまりそう思わない	36.6	33.1	39.4	35.2	38.6	38.5	34.2
	32. かなりそう思わない	3.5	3.5	3.5	3.5	4.4	2.0	2.0
	33. まあそう思う	18.7	16.5	20.4	23.1	12.6	14.1	14.6
	34. あまりそう思わない	54.9	53.6	55.9	53.3	57.0	48.8	56.5
	35. あまりそう思わない	24.5	27.3	22.3	21.5	28.7	35.6	25.8
	36. まったくそう思わない	1.9	2.6	1.4	2.1	1.7	1.5	3.1

質問項目	全 体	地 域		性 別		経 験 年 数					
		東 京	東 北	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上
② 何に力を入れたか	1. かなりそう思う	46.6	43.6	48.9	45.5	47.9	51.1	47.1	42.9	42.7	45.5
	2. まあそう思う	46.3	46.9	45.8	46.0	46.8	41.5	47.5	48.4	47.3	49.6
	3. あまりそう思わない	6.6	8.3	5.3	8.2	4.5	6.7	5.4	8.1	9.0	4.1
	4. まったくそう思わない	0.5	1.2	0.0	0.3	0.8	0.7	0.0	0.6	1.0	0.8
	1. かなりそう思う	42.1	41.8	42.4	40.3	44.5	44.4	44.1	40.1	37.2	44.7
	2. まあそう思う	51.4	51.3	51.5	52.8	49.5	48.2	47.1	55.7	53.8	50.0
	3. あまりそう思わない	6.2	6.5	5.9	6.6	5.7	7.4	8.1	3.6	8.5	5.3
	4. まったくそう思わない	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	0.0	0.7	0.6	0.5	0.0
	1. かなりそう思う	54.5	52.2	56.4	49.6	61.3	63.0	50.6	57.4	59.3	53.9
	2. まあそう思う	39.5	41.3	38.1	43.4	34.1	30.4	44.4	35.4	35.7	40.4
③ 教職上の「悩み」	3. あまりそう思わない	5.8	6.4	5.3	6.7	4.6	5.9	4.7	7.2	5.0	5.8
	4. まったくそう思わない	0.2	0.1	0.2	0.3	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.3
	1. かなりそう思う	24.4	24.3	24.5	25.3	23.2	32.6	27.8	26.5	29.6	17.4
	2. まあそう思う	47.2	46.2	48.0	47.0	47.4	46.0	49.8	47.9	45.8	48.5
	3. あまりそう思わない	25.3	25.1	25.4	24.2	26.8	20.7	21.0	24.5	19.1	29.8
	4. まったくそう思わない	3.1	4.4	2.1	3.5	2.6	0.7	1.4	1.1	5.5	6.0
	1. かなりそう思う	32.9	29.4	35.8	30.7	35.9	36.3	38.0	31.8	30.2	26.1
	2. まあそう思う	57.3	58.3	56.4	58.1	56.1	56.3	54.6	59.3	56.2	56.6
	3. あまりそう思わない	9.1	11.3	7.3	10.5	7.2	6.7	7.1	8.6	12.6	13.3
	4. まったくそう思わない	0.7	1.0	0.5	0.7	0.8	0.7	0.3	0.3	1.0	1.0
④ 何かがうまくいかない	1. かなりそう思う	30.6	26.3	33.9	29.5	32.1	34.8	38.0	29.2	28.1	25.7
	2. まあそう思う	53.6	53.8	53.6	54.3	52.7	53.3	47.8	54.1	53.8	54.0
	3. あまりそう思わない	14.4	17.7	11.7	14.9	13.7	10.4	13.2	15.6	15.1	19.2
	4. まったくそう思わない	1.4	2.2	0.8	1.3	1.5	1.5	1.0	1.1	3.0	1.4
	1. とても感じている	16.1	19.3	13.6	17.0	14.8	11.9	15.9	18.4	16.6	19.1
	2. かなり感じている	31.0	30.6	31.2	29.3	33.3	19.4	25.4	29.3	33.7	39.9
	3. あまり感じていない	47.4	45.6	48.8	47.9	46.8	62.0	51.6	47.3	44.7	50.4
	4. まったく感じていない	5.5	4.5	6.4	5.8	5.1	6.7	7.1	5.0	5.0	4.9
	1. とても感じている	0.9	1.0	0.8	0.6	1.4	3.7	0.7	0.3	1.0	0.4
	2. かなり感じている	7.2	8.4	6.1	5.5	9.5	13.3	8.8	6.1	5.0	4.9
⑤ 生活環境	3. あまり感じていない	46.5	48.7	44.9	42.1	52.7	60.0	46.8	45.4	44.7	41.0
	4. まったく感じていない	45.4	41.9	48.2	51.8	36.4	23.0	43.7	48.2	49.3	53.7
	1. とても感じている	2.0	2.6	1.5	1.7	2.5	2.2	1.4	1.4	2.5	3.4
	2. かなり感じている	16.8	19.0	15.0	17.6	15.7	17.0	19.0	18.4	16.6	14.9
⑥ 経験年数	3. あまり感じていない	61.8	61.8	61.9	61.7	62.0	69.7	61.0	61.2	62.8	60.0
	4. まったく感じていない	19.4	16.6	21.6	19.0	19.8	11.1	18.6	19.0	18.1	20.9

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全 体	地 域			性 別		1~4年		5~9年		10~14年		15~19年		20~29年		30年以上			
		東 京	東 北	男	女		9.6	7.7	32.6	38.6	39.5	37.3	50.8	45.9	6.1	4.7	6.5	5.5	37.2	34.6
教員	1. とても感じている	8.0	9.5	6.8	8.2															
	2. かなり感じている	36.5	37.1	35.9	35.0															
	3. あまり感じていない	49.8	47.0	52.0	50.9															
	4. まったく感じていない	5.7	6.4	5.3	5.9															
	1. とても感じている	12.9	17.6	9.2	12.3															
	2. かなり感じている	41.0	43.2	39.2	39.5															
	3. あまり感じていない	41.9	35.9	46.7	43.8															
	4. まったく感じていない	4.2	3.3	4.9	4.7															
	1. とても感じている	9.1	8.3	9.6	8.6															
	2. かなり感じている	41.7	41.8	41.5	40.0															
職業	3. あまり感じていない	45.1	44.4	46.0	46.7															
	4. まったく感じていない	4.1	5.5	2.9	4.7															
	1. とても感じている	0.8	0.7	0.8	0.7															
	2. かなり感じている	12.8	16.4	10.0	11.2															
	3. あまり感じていない	75.1	71.6	77.9	74.0															
	4. まったく感じていない	11.3	11.3	11.3	14.1															
	1. とても感じている	2.9	2.8	3.0	2.9															
	2. かなり感じている	18.8	23.5	14.9	16.2															
	3. あまり感じていない	61.8	59.5	63.9	62.7															
	4. まったく感じていない	16.5	14.2	18.2	14.0															
「懶」	1. とても感じている	1.6	1.9	1.4	1.2															
	2. かなり感じている	15.1	18.4	12.4	16.0															
	3. あまり感じていない	64.6	63.5	65.6	64.0															
	4. まったく感じていない	18.7	16.2	20.6	18.8															
	1. とても感じている	12.8	12.0	13.4	10.1															
	2. かなり感じている	27.8	27.0	28.4	25.0															
	3. あまり感じていない	44.3	45.5	43.4	46.8															
	4. まったく感じていない	15.1	15.5	14.8	18.1															
	1. とても感じている	2.0	2.3	1.7	2.1															
	2. かなり感じている	13.3	13.8	12.9	14.4															
「懶」	3. あまり感じていない	68.4	67.0	69.6	66.8															
	4. まったく感じていない	16.3	16.9	15.8	16.7															
	1. とても感じている	15.2	17.7	13.1	18.1															
	2. かなり感じている	34.5	38.2	31.5	35.1															
	3. あまり感じていない	45.1	40.0	49.1	41.6															
	4. まったく感じていない	5.2	4.1	6.3	5.2															

質問項目	全 体	地 域		性 別		経 験 年 数					
		東 京	北	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上
教職上の「悩み」 〔3〕	1. とても感じている	2.9	3.6	2.3	2.9	3.0	5.8	3.6	2.0	1.9	0.7
	2. かなり感じている	10.5	11.5	9.7	9.1	12.4	11.9	13.2	11.4	9.4	6.4
	3. あまり感じていない	43.1	43.6	42.8	42.3	44.3	35.6	38.3	45.7	49.0	47.0
	4. まったく感じていない	43.5	41.3	45.2	45.7	40.4	49.5	42.7	39.3	37.4	41.7
	1. とても感じている	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.5	3.1	1.9	0.5	1.1
	2. かなり感じている	7.9	8.1	7.8	7.2	8.9	8.9	10.8	10.0	8.0	5.3
	3. あまり感じていない	61.3	59.2	62.8	59.5	63.7	72.6	57.3	59.4	64.9	62.7
	4. まったく感じていない	29.2	31.1	27.8	31.5	26.0	17.0	28.8	28.7	26.6	30.9
	1. とても感じている	4.3	3.8	4.8	4.8	3.7	5.9	7.5	3.9	3.0	1.1
	2. かなり感じている	21.6	21.2	22.1	20.4	23.4	23.0	18.7	20.7	23.6	21.8
教職上の「悩み」 〔4〕	3. あまり感じていない	64.9	65.0	64.5	64.3	65.4	63.7	63.6	67.3	66.9	66.6
	4. まったく感じていない	9.2	10.0	8.6	10.5	7.5	7.4	10.2	8.1	6.5	10.5
	1. とても感じている	1.2	1.3	1.2	1.7	0.6	3.0	2.1	2.0	0.0	0.4
	2. かなり感じている	11.5	14.7	9.0	12.6	10.0	14.1	15.8	13.7	10.1	7.9
	3. あまり感じていない	73.8	70.8	76.1	71.0	77.5	68.1	71.1	71.7	79.3	77.8
	4. まったく感じていない	13.5	13.2	13.7	14.7	11.9	14.8	11.0	12.6	10.6	13.9
	1. とても感じている	14.8	16.2	13.7	15.1	14.5	15.6	14.3	17.4	15.1	12.8
	2. かなり感じている	33.5	38.5	29.5	33.6	33.2	16.3	29.3	34.2	38.1	35.8
	3. あまり感じていない	31.8	31.0	32.5	32.6	30.7	34.8	32.6	28.7	30.7	35.8
	4. まったく感じていない	19.9	14.3	24.3	18.7	21.6	33.3	23.8	19.7	16.1	15.6
生徒の「悩み」 〔3〕	1. とても感じている	6.5	6.1	6.9	5.6	7.9	9.0	6.8	11.2	3.5	5.4
	2. かなり感じている	40.4	40.0	40.6	39.6	41.5	40.3	38.6	37.5	41.4	45.1
	3. あまり感じていない	49.5	50.1	49.1	50.2	48.4	47.7	49.8	47.4	50.0	51.8
	4. まったく感じていない	3.6	3.8	3.4	4.6	2.2	3.0	4.8	3.9	5.1	0.8
	1. とても感じている	5.2	6.3	4.3	4.9	5.6	3.7	6.1	6.2	4.5	3.4
	2. かなり感じている	24.7	30.9	19.8	25.3	24.0	16.3	21.2	28.4	26.1	28.2
	3. あまり感じていない	53.9	51.4	55.9	54.7	52.8	57.0	53.9	53.3	54.3	53.7
	4. まったく感じていない	16.2	11.4	20.0	15.1	17.6	23.0	18.8	12.1	15.1	14.7
	1. とても必要	13.6	9.8	16.6	14.4	12.6	12.7	20.4	13.5	12.1	9.9
	2. わりと必要	62.8	62.4	63.2	59.6	67.1	64.2	62.9	64.3	65.8	66.9
教員として必要な力 〔4〕	3. あまり必要でない	21.7	24.6	19.3	23.9	18.6	21.6	15.3	21.6	17.6	21.3
	4. ぜんぜん必要でない	1.9	3.2	0.9	2.1	1.7	1.5	1.4	0.6	4.5	1.9
	1. とても必要	64.6	64.1	65.0	63.6	66.1	68.1	69.6	67.2	62.8	64.3
	2. わりと必要	33.4	34.0	32.9	33.9	32.6	30.4	29.7	30.8	35.2	32.7
指導への適切な生徒対応 〔4〕	3. あまり必要でない	1.9	1.6	2.1	2.4	1.1	1.5	0.7	2.0	1.5	3.0
	4. ぜんぜん必要でない	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全 体		東 京		東 北		性 別		1~4年		5~9年		10~14年		15~19年		20~29年		30年以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
教 師	1. とても必要	61.8	56.2	66.3	58.6	66.1	68.2	67.7	67.6	52.3	60.5	53.5								
	2. わりと必要	35.5	40.5	31.5	37.8	32.3	28.1	30.3	30.7	46.2	36.5	41.7								
	3. あまり必要でない	2.6	3.0	2.2	3.5	1.4	3.7	2.0	1.7	1.0	3.0	4.5								
	4. ゼンゼン必要でない	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.3								
	1. とても必要	11.2	9.3	12.7	9.4	13.7	11.1	10.5	7.5	7.5	12.8	17.4								
	2. わりと必要	47.5	39.5	54.0	45.1	50.9	51.1	47.3	45.6	49.3	43.9	50.9								
	3. あまり必要でない	36.1	43.5	30.2	38.4	32.9	32.6	37.4	39.4	36.7	41.0	27.3								
	4. ゼンゼン必要でない	5.2	7.7	3.1	7.1	2.5	5.2	4.8	7.5	6.5	2.3	4.4								
	1. とても必要	46.6	46.6	42.9	51.5	51.8	48.4	46.9	39.7	46.2	47.0									
	2. わりと必要	47.7	49.0	46.6	50.4	44.1	41.5	46.9	45.5	55.8	48.5	47.9								
ヒ ト	3. あまり必要でない	5.2	3.8	6.3	5.9	4.2	6.7	4.4	7.0	3.0	5.3	4.4								
	4. ゼンゼン必要でない	0.5	0.6	0.5	0.8	0.2	0.0	0.3	0.6	1.5	0.0	0.7								
	1. とても必要	37.5	28.8	44.5	35.3	40.5	40.7	38.6	37.0	32.2	38.0	38.6								
	2. わりと必要	54.1	57.8	51.1	56.1	51.3	51.9	56.3	52.1	60.3	54.8	50.5								
	3. あまり必要でない	7.9	12.4	4.3	7.8	8.0	6.7	4.8	10.6	6.5	6.8	10.2								
	4. ゼンゼン必要でない	0.5	1.0	0.1	0.8	0.2	0.7	0.3	0.3	1.0	0.4	0.7								
	1. とても必要	37.3	34.7	39.2	34.9	40.6	45.2	37.1	37.4	33.8	35.3	37.6								
	2. わりと必要	46.9	48.3	45.8	46.1	48.2	41.5	48.0	45.6	48.0	48.5	48.2								
	3. あまり必要でない	13.0	13.5	12.8	15.1	10.0	12.6	11.2	12.8	15.7	13.9	12.5								
	4. ゼンゼン必要でない	2.8	3.5	2.2	3.9	1.2	0.7	3.7	4.2	2.5	2.3	1.7								
4. 必 要	1. とても必要	29.5	27.4	31.0	29.1	30.0	31.9	31.0	31.3	21.2	27.8	31.8								
	2. わりと必要	61.0	60.8	61.3	60.8	61.2	59.2	60.2	61.1	68.2	60.6	58.0								
	3. あまり必要でない	9.0	11.2	7.4	9.5	8.5	8.9	8.8	7.3	10.1	10.5	9.5								
	4. ゼンゼン必要でない	0.5	0.6	0.3	0.6	0.3	0.0	0.0	0.3	0.5	1.1	0.7								
	1. とても必要	61.5	55.0	66.8	57.8	66.6	72.9	67.7	63.7	53.3	57.1	56.8								
	2. わりと必要	35.9	41.4	31.5	39.2	31.4	25.6	30.6	33.5	42.7	39.5	41.2								
	3. あまり必要でない	2.3	3.2	1.6	2.6	2.0	1.5	1.7	2.5	3.0	3.4	1.7								
	4. ゼンゼン必要でない	0.3	0.4	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.3	1.0	0.0	0.3								
	1. とても必要	30.4	29.0	31.4	29.7	31.3	37.0	32.3	28.8	26.6	29.1	31.2								
	2. わりと必要	53.4	52.6	54.1	52.3	55.0	48.2	52.4	55.0	55.8	55.8	50.8								
力	3. あまり必要でない	15.4	17.1	14.0	16.8	13.4	14.1	15.0	15.1	15.6	14.7	17.3								
	4. ゼンゼン必要でない	0.8	1.3	0.5	1.2	0.3	0.7	0.3	1.1	2.0	0.4	0.7								
	1. とても必要	56.9	53.2	59.9	54.6	60.1	57.2	58.1	53.3	59.4	55.6	43.1								
	2. わりと必要	41.7	45.2	38.8	43.7	39.0	43.3	40.8	40.2	45.7	39.5	43.1								
力	3. あまり必要でない	1.2	1.3	1.2	1.4	0.9	0.7	2.0	1.4	0.5	1.1	1.0								
	4. ゼンゼン必要でない	0.2	0.3	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.0	0.3								

質問項目	全 体	地 域		性 別		経 験 年 数	
		東 京	北	男	女	1~4年	5~9年
4. い板書がうまく保従する距離と生徒の自主性を尊重で主導するが班別での個別指導	1. とても必要	21.5	22.2	19.2	24.5	20.7	22.1
	2. わりと必要	59.3	59.4	59.3	59.3	60.1	59.6
	3. あまり必要でない	18.2	17.1	19.1	20.0	15.7	18.5
	4. ぜんぜん必要でない	1.0	1.3	0.8	1.4	0.5	0.7
	1. とても必要	20.6	17.9	22.8	19.4	22.3	31.9
	2. わりと必要	63.3	62.4	64.0	62.1	64.8	59.2
	3. あまり必要でない	14.5	18.0	11.7	16.6	11.7	8.9
	4. ぜんぜん必要でない	1.6	1.7	1.5	1.9	1.2	0.0
	1. とても必要	39.4	36.8	41.5	36.9	42.8	49.7
	2. わりと必要	56.9	58.2	55.9	58.5	54.9	48.1
5. さたした習子の手運べるをれるが歩路の指導が楽しきが業中、ない私のがけ業に少ない生徒について	3. あまり必要でない	3.4	4.3	2.6	4.3	2.0	2.2
	4. ぜんぜん必要でない	0.3	0.7	0.0	0.3	0.3	0.0
	1. とても必要	19.0	17.6	20.1	17.7	20.9	23.7
	2. わりと必要	59.6	57.9	61.1	59.2	60.1	56.3
	3. あまり必要でない	19.9	22.0	18.1	21.0	18.4	20.0
	4. ぜんぜん必要でない	1.5	2.5	0.7	2.1	0.6	0.0
	1. とても必要	49.2	45.0	52.5	45.2	54.7	52.6
	2. わりと必要	48.1	52.3	44.8	51.6	43.3	46.7
	3. あまり必要でない	2.6	2.6	2.7	3.1	2.0	0.7
	4. ぜんぜん必要でない	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
6. う進み歩路の指導が楽しきが業中、ない私のがけ業に少ない生徒について	1. とても必要	32.5	28.3	35.9	30.6	35.2	31.1
	2. わりと必要	57.8	60.0	56.2	59.0	56.2	60.8
	3. あまり必要でない	9.2	11.3	7.4	9.8	8.3	7.4
	4. ぜんぜん必要でない	0.5	0.4	0.5	0.6	0.3	0.7
	1. とても重要	74.0	74.9	73.0	71.6	77.3	82.2
	2. まあ重要	23.7	22.2	25.1	26.1	20.4	15.6
	3. どちらかといえば重要	2.2	2.6	1.9	2.1	2.3	2.2
	4. あまり重要ではない	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	0.7
	1. とても重要	26.8	27.5	26.3	26.1	27.9	14.1
	2. まあ重要	50.5	50.5	48.5	53.1	54.8	52.9
7. 望ましい生徒・クラスの状況	3. どちらかといえば重要	19.0	17.4	20.4	20.8	16.5	25.9
	4. あまり重要ではない	3.7	4.6	2.9	4.6	2.5	5.2
	1. とても重要	39.6	42.4	37.4	36.5	44.0	33.3
	2. まあ重要	41.6	39.1	43.5	42.9	39.6	40.8

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全 体	地 域			性 別		経験年数					
		東 京	東 北	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上	
が生 よくと 話先生 すり生 りを守 りを守 るがきま びど伸 びどんび る手子 ん伸が いけけ られじめ れるが れが い忘れ れ物が な して先 生を信 いる信 頼	1. とても重要	54.8	52.4	56.6	52.6	57.8	59.3	57.3	53.9	52.3	51.3	56.1
	2. まあ重要	37.6	39.9	35.8	39.4	35.1	33.3	35.2	38.8	37.2	41.1	37.5
	3. どちらかといえば重要	6.8	6.8	6.8	7.0	6.5	6.7	6.8	5.9	9.5	7.2	5.7
	4. あまり重要ではない	0.8	0.9	0.8	1.0	0.6	0.7	0.7	1.4	1.0	0.4	0.7
望まし い生徒 ・ク ラス	1. とても重要	30.4	30.0	30.6	31.0	29.5	27.6	29.1	31.8	25.3	28.6	36.3
	2. まあ重要	55.2	52.9	57.2	53.7	57.4	59.8	54.8	53.1	59.6	57.1	51.5
	3. どちらかといえば重要	12.8	14.8	11.1	13.4	11.9	10.4	15.1	13.7	13.6	11.3	11.2
	4. あまり重要ではない	1.6	2.3	1.1	1.9	1.2	2.2	1.0	1.4	1.5	3.0	1.0
の状況	1. とても重要	45.5	42.2	48.1	44.3	47.1	46.7	48.3	44.8	41.9	45.1	45.6
	2. まあ重要	41.5	44.1	39.4	42.6	39.9	36.3	38.4	43.4	47.0	42.8	39.8
	3. どちらかといえば重要	11.2	11.9	10.6	11.3	11.1	13.3	11.6	9.8	10.1	11.0	12.5
	4. あまり重要ではない	1.8	1.8	1.9	1.8	1.9	3.7	1.7	2.0	1.0	1.1	2.1
の状況	1. とても重要	64.7	61.5	67.2	61.9	68.6	80.8	71.0	67.0	54.8	60.6	58.5
	2. まあ重要	31.3	33.5	29.6	33.9	27.7	17.0	25.9	29.9	38.7	33.7	37.8
	3. どちらかといえば重要	3.7	4.4	3.1	3.8	3.5	1.5	3.1	2.8	5.5	5.7	3.4
	4. あまり重要ではない	0.3	0.6	0.1	0.4	0.2	0.7	0.0	0.3	1.0	0.0	0.3
の状況	1. とても重要	36.5	37.8	35.5	33.5	40.7	40.7	33.1	36.3	29.1	35.0	44.5
	2. まあ重要	49.6	47.8	51.1	50.6	48.2	43.8	56.4	49.2	55.3	50.4	41.6
	3. どちらかといえば重要	12.6	13.0	12.2	14.5	10.0	14.8	10.2	12.8	14.1	12.0	13.2
	4. あまり重要ではない	1.3	1.4	1.2	1.4	1.1	0.7	0.7	0.3	1.7	1.5	2.6
の状況	1. とても重要	64.8	65.0	64.5	63.0	67.1	62.3	63.8	66.4	65.2	67.3	62.2
	2. まあ重要	31.0	29.6	32.3	32.0	29.8	31.1	32.1	29.9	32.3	27.4	33.8
	3. どちらかといえば重要	3.5	4.2	2.9	4.0	2.8	5.9	3.1	3.1	2.0	4.9	3.0
	4. あまり重要ではない	0.7	1.2	0.3	1.0	0.3	0.7	1.0	0.6	0.5	0.4	1.0
の状況	1. とても重要	62.5	57.4	66.5	58.4	68.1	70.5	71.7	64.0	57.8	58.2	55.1
	2. まあ重要	33.4	36.5	31.1	37.2	28.2	24.4	27.0	33.5	34.2	36.5	40.5
	3. どちらかといえば重要	3.7	5.4	2.3	3.8	3.5	4.4	1.0	2.2	7.0	5.3	4.1
	4. あまり重要ではない	0.4	0.7	0.1	0.6	0.2	0.7	0.3	0.3	1.0	0.0	0.3
の状況	1. とても重要	26.4	24.9	27.7	27.0	25.6	31.3	25.8	26.5	21.1	23.0	31.3
	2. まあ重要	52.4	50.2	54.2	51.1	54.3	43.4	53.9	51.7	55.8	57.0	49.6
	3. どちらかといえば重要	18.5	21.4	16.1	19.2	17.5	23.1	18.6	18.7	19.6	15.8	17.7
	4. あまり重要ではない	2.7	3.5	2.0	2.7	2.6	2.2	1.7	3.1	3.5	4.2	1.4
の状況	1. とても重要	30.6	28.8	32.1	29.1	32.7	31.9	34.1	31.6	26.6	30.1	28.5
	2. まあ重要	53.5	53.0	53.8	53.3	53.6	53.3	50.8	54.4	50.8	54.1	55.9
	3. どちらかといえば重要	14.2	16.2	12.6	15.6	12.3	13.3	13.7	12.0	20.6	13.5	14.2
	4. あまり重要ではない	1.7	2.0	1.5	2.0	1.4	1.5	1.4	2.0	2.0	2.3	1.4

質問項目		全 体	地 域		性 別		経 驚 年 数					
			東 京	東 北	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上
て席チヤ いが守イム られ着	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	40.3 47.3 11.0 1.4	41.7 43.5 12.8 2.0	39.1 50.4 9.6 0.9	36.6 48.7 12.8 0.8	45.3 45.4 8.5 1.5	44.5 40.7 13.3 0.3	37.9 51.9 9.9 2.2	40.4 46.4 11.0 1.0	36.2 50.7 12.1 1.0	38.9 49.4 9.8 1.9	44.5 42.6 11.5 1.4
が問題 少ない生 徒	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	27.9 45.1 21.4 5.6	28.3 44.1 21.5 6.1	27.5 46.1 21.3 5.1	28.9 46.1 21.3 6.9	22.4 44.0 26.1 3.7	24.2 42.4 25.9 7.5	27.4 45.5 21.8 7.5	26.6 49.3 18.6 5.3	29.8 45.0 19.2 5.5	33.8 45.3 18.2 6.0	33.8 45.3 18.2 2.7
わわるさくく 動どもい が教室 の環境 い境	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	45.1 45.4 44.8 8.7	44.9 44.8 46.0 9.3	45.2 42.5 47.4 8.1	48.5 45.9 46.7 9.2	45.9 43.0 46.4 7.9	45.9 43.0 46.4 9.9	45.9 46.3 47.7 7.0	45.9 40.2 47.7 11.1	46.3 47.4 41.0 10.5	46.3 47.4 45.6 7.4	46.3 47.4 45.6 0.7
い 生 徒	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	49.7 41.7 51.2 0.8	49.6 40.8 48.6 1.0	45.1 42.3 45.1 0.7	56.2 44.6 48.9 0.9	48.9 37.6 46.2 0.8	48.9 43.7 46.2 1.5	49.9 41.6 49.9 0.7	47.8 42.6 47.8 0.6	52.1 42.2 52.1 1.1	52.7 39.6 52.1 1.1	52.7 39.9 52.1 0.7
・ ク ラ ス	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	41.7 28.4 51.2 38.7	40.8 27.8 48.6 38.7	42.3 28.1 48.6 38.8	44.6 28.9 49.1 37.7	37.6 28.9 43.7 40.1	37.6 28.9 43.7 38.5	37.6 41.6 43.6 40.3	37.6 42.6 42.2 38.0	39.6 39.6 39.6 32.7	39.9 39.9 39.9 42.7	39.9 39.9 39.9 38.4
の 状 況	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	48.1 39.4 46.1 11.3	46.1 39.6 49.8 13.0	43.7 39.3 54.4 9.9	43.7 37.0 57.8 14.1	30.4 37.0 50.2 7.4	30.4 37.0 50.2 9.6	30.4 37.2 49.1 12.3	30.4 38.0 49.1 11.5	32.6 47.2 48.1 14.6	38.2 43.6 47.6 13.2	38.2 43.6 47.6 13.2
均テス 点がト よの平 てに生 じる助 けが互 いきる きる業 前後で	1. とても重要 2. まあ重要 3. どちらかといえれば重要 4. あまり重要ではない	4.3 28.4 42.5 38.4	3.3 26.5 30.0 36.9	5.1 26.5 31.0 39.5	4.3 26.5 31.0 37.5	4.3 26.5 31.0 41.5	4.3 26.5 31.0 43.7	4.3 26.5 31.0 36.2	4.3 26.5 31.0 31.7	4.3 26.5 31.0 33.3	4.3 26.5 31.0 33.3	4.3 33.1 38.9 38.9

● 資料 2 基礎集計表

質問項目	全 体	地 域			性 別		経 験 年 数					
		東 京	東 北	男	女		1 ~ 4 年	5 ~ 9 年	10 ~ 14 年	15 ~ 19 年	20 ~ 29 年	30 年以上
いな生い徒はほどによ	1. おおいに賛成	28.7	33.0	25.2	27.9	29.8	22.4	20.0	30.2	33.2	29.4	34.7
い徒はほどによ	2. どちらかどいうと賛成	58.8	55.1	61.8	58.2	59.5	65.7	66.5	53.7	54.7	58.2	57.5
い徒はほどによ	3. どちらかどいうと反対	11.4	10.7	12.0	12.3	10.2	10.4	13.2	14.4	10.6	11.3	7.1
い徒はほどによ	4. おおいに反対	1.1	1.2	1.0	1.6	0.5	1.5	0.3	1.7	1.5	1.1	0.7
力結果より価勢	1. おおいに賛成	51.4	49.0	53.5	47.2	57.2	51.8	53.8	46.9	47.7	50.4	57.6
力結果より価勢	2. どちらかどいうと賛成	46.4	48.6	44.5	49.9	41.6	46.7	43.9	49.7	49.8	48.1	41.0
力結果より価勢	3. どちらかどいうと反対	2.1	2.3	1.9	2.7	1.2	1.5	2.0	3.4	2.5	1.1	1.4
力結果より価勢	4. おおいに反対	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0
導個入学習の仕事	1. おおいに賛成	25.1	21.8	27.8	23.5	27.2	20.7	24.7	21.4	25.1	23.4	33.2
導個入学習の仕事	2. どちらかどいうと賛成	66.0	66.0	65.9	66.9	64.7	72.6	68.5	68.4	62.3	65.3	60.7
導個入学習の仕事	3. どちらかどいうと反対	8.7	11.8	6.3	9.4	7.9	6.7	6.8	9.9	12.1	10.9	6.1
導個入学習の仕事	4. おおいに反対	0.2	0.4	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.3	0.5	0.4	0.0
は服装心装の乱れわれれ	1. おおいに賛成	23.0	23.0	23.0	23.4	22.5	18.5	20.7	22.3	20.2	22.3	30.7
は服装心装の乱れわれれ	2. どちらかどいうと賛成	61.5	59.6	62.9	60.5	62.6	60.8	62.6	62.0	64.2	63.4	56.2
は服装心装の乱れわれれ	3. どちらかどいうと反対	12.5	14.1	11.3	12.2	13.1	18.5	13.6	12.3	12.6	11.3	10.1
は服装心装の乱れわれれ	4. おおいに反対	3.0	3.3	2.8	3.9	1.8	2.2	3.1	3.4	3.0	3.0	3.0
に生徒団ががの助かな大切合で	1. おおいに賛成	73.4	70.4	75.9	71.0	76.6	80.7	75.6	71.5	69.3	74.3	72.1
に生徒団ががの助かな大切合で	2. どちらかどいうと賛成	26.2	29.0	23.9	28.3	23.4	19.3	24.1	27.4	30.7	25.7	27.6
に生徒団ががの助かな大切合で	3. どちらかどいうと反対	0.4	0.6	0.2	0.7	0.0	0.0	0.3	1.1	0.0	0.0	0.3
に生徒団ががの助かな大切合で	4. おおいに反対	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
す才能を伸ばすかかわる意	1. おおいに賛成	28.0	23.9	31.3	28.3	27.5	31.1	31.6	24.6	23.1	27.2	31.1
す才能を伸ばすかかわる意	2. どちらかどいうと賛成	59.8	62.2	57.8	59.6	60.0	59.3	58.5	63.6	61.8	58.4	56.4
す才能を伸ばすかかわる意	3. どちらかどいうと反対	11.5	12.7	10.6	11.4	11.7	8.9	9.9	11.2	12.6	13.6	12.2
も沿教師の意に尊重なるくと	4. おおいに反対	0.7	1.2	0.3	0.7	0.8	0.7	0.0	0.6	2.5	0.8	0.3
も沿教師の意に尊重なるくと	1. おおいに賛成	14.8	14.7	14.9	14.7	15.0	18.5	17.7	12.9	12.6	11.8	16.9
も沿教師の意に尊重なるくと	2. どちらかどいうと賛成	59.1	58.5	59.5	59.7	58.1	63.8	52.1	59.1	56.3	60.4	64.5
も沿教師の意に尊重なるくと	3. どちらかどいうと反対	24.3	24.0	24.6	23.6	25.3	17.0	29.9	24.4	29.1	25.1	17.9
導入ラス穢度別のク	4. おおいに反対	1.8	2.8	1.0	2.0	1.6	0.7	0.3	3.6	2.0	2.7	0.7
導入ラス穢度別のク	1. おおいに賛成	7.4	8.9	6.2	7.6	7.1	6.0	8.1	8.1	6.0	7.2	7.5
導入ラス穢度別のク	2. どちらかどいうと賛成	34.7	38.3	31.7	34.2	35.4	32.1	33.2	38.8	37.2	37.4	28.2
導入ラス穢度別のク	3. どちらかどいうと反対	13.3	12.7	13.7	14.4	11.7	17.2	11.5	12.6	16.6	9.8	15.0
対体罰には反	4. おおいに賛成	22.5	27.5	18.6	21.0	24.5	13.3	13.3	18.8	29.6	33.5	25.7
対体罰には反	2. どちらかどいうと賛成	36.0	33.7	37.8	33.7	39.2	37.8	35.4	35.3	36.3	33.1	39.2
対体罰には反	3. どちらかどいうと反対	34.4	31.1	37.0	36.5	31.5	43.7	40.4	37.5	29.6	29.3	28.0
対体罰には反	4. おおいに反対	7.1	7.7	6.6	8.8	4.8	5.2	10.9	8.4	4.5	4.1	7.1

質問項目	全 体	東 京		地 域		性 別		経 験 年 数			
		男	女	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上
⑥ 教師の仕事に就いての意見	1. おおいに賛成	6.8	6.7	6.8	5.7	6.0	6.1	5.3	5.6	9.8	7.6
	2. どちらかというと賛成	36.5	33.8	38.8	36.4	36.6	36.1	31.2	29.1	33.5	39.6
	3. どちらかというと反対	44.3	44.3	44.3	42.7	46.8	49.6	48.5	49.9	41.6	41.9
	4. おおいに反対	12.4	15.2	10.1	13.4	10.9	8.3	14.2	15.7	19.3	8.7
	1. おおいに賛成	33.9	37.6	30.9	30.7	38.2	37.3	33.3	28.2	31.2	34.5
	2. どちらかというと賛成	44.6	42.4	46.5	44.5	44.8	38.9	47.3	44.2	43.7	45.0
	3. どちらかというと反対	16.8	16.5	17.0	18.6	14.4	20.1	14.3	21.4	18.1	17.8
	4. おおいに反対	4.7	3.5	5.6	6.2	2.6	3.7	5.1	6.2	7.0	2.7
	1. おおいに賛成	2.3	2.2	2.4	2.8	1.7	4.4	2.7	2.0	1.5	0.8
	2. どちらかというと賛成	42.3	36.7	46.8	44.3	39.5	49.7	37.6	40.0	42.1	44.9
⑦ 指導力向上のための知識	3. どちらかというと反対	51.2	55.8	47.4	47.4	56.3	43.7	57.0	52.6	49.8	49.0
	4. おおいに反対	4.2	5.3	3.4	5.5	2.5	2.2	2.7	5.4	6.6	4.5
	1. おおいに賛成	21.1	20.6	21.4	20.7	21.6	25.2	23.9	19.8	16.1	19.4
	2. どちらかというと賛成	56.0	59.7	53.2	58.5	52.6	44.4	54.6	59.1	57.3	53.2
	3. どちらかというと反対	20.7	17.7	23.1	19.0	23.0	26.7	20.1	18.6	23.1	24.7
	4. おおいに反対	2.2	2.0	2.3	1.8	2.8	3.7	1.4	2.5	3.5	2.7
	1. おおいに賛成	43.2	42.3	44.0	41.3	45.9	59.2	49.8	42.2	40.7	38.0
	2. どちらかというと賛成	50.5	51.8	49.5	51.9	48.5	37.8	44.1	51.1	52.8	55.6
	3. どちらかというと反対	6.1	5.5	6.5	6.6	5.4	3.0	5.8	6.7	6.5	6.4
	4. おおいに反対	0.2	0.4	0.0	0.2	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7

● 資料2 基礎集計表

質問項目	全 体	地 域			性 別		経 験 年 数					
		東 京	東 北	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上	
指導力を高めるために必要なこと												
を教師の人格	1. もっとも重要	54.2	54.5	53.9	52.0	57.3	52.7	58.4	50.2	53.3	54.2	56.3
を教高める人	2. かなり重要	39.4	38.7	40.0	40.8	37.5	40.7	36.6	41.1	41.2	39.8	38.0
めの人格	3. どちらかというと重要	5.7	5.8	5.6	6.2	4.9	5.9	4.7	8.1	4.5	6.0	4.0
の徒理解持	4. あまり重要ではない	0.7	1.0	0.5	1.0	0.3	0.7	0.3	0.6	1.0	0.0	1.7
の徒理解持	1. もっとも重要	55.1	55.0	55.2	53.1	57.9	61.5	53.1	55.6	51.3	52.6	58.3
の徒理解持	2. かなり重要	40.1	39.5	40.5	41.5	38.1	34.8	41.8	38.0	45.2	42.5	37.7
の徒理解持	3. どちらかというと重要	4.6	5.1	4.3	5.1	4.0	3.7	5.1	6.4	2.5	4.9	3.7
の徒理解持	4. あまり重要ではない	0.2	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.3
の徒理解持	1. もっとも重要	49.4	56.8	43.6	45.9	54.2	41.5	47.8	53.9	46.7	51.1	49.5
の徒理解持	2. かなり重要	46.2	39.0	51.9	48.6	43.0	54.1	47.1	43.0	47.3	44.4	46.5
の徒理解持	3. どちらかというと重要	4.1	3.6	4.5	5.2	2.6	4.4	5.1	3.1	4.5	4.5	3.7
の徒理解持	4. あまり重要ではない	0.3	0.6	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.3
削減定員の	1. もっとも重要	32.0	36.5	28.3	28.4	37.0	17.2	23.7	29.9	32.7	35.7	45.8
削減定員の	2. かなり重要	38.7	37.0	40.4	38.4	39.2	44.0	34.9	39.4	40.7	40.3	36.7
削減定員の	3. どちらかというと重要	24.5	22.2	26.2	27.2	20.7	30.6	36.3	25.1	22.1	19.9	14.8
削減定員の	4. あまり重要ではない	4.8	4.3	5.1	6.0	3.1	8.2	5.1	5.6	4.5	4.1	2.7
なこと	1. しばしば感じる	11.6	14.0	9.2	9.6	14.7			7.4	9.6	13.2	17.6
なこと	2. ときどき感じる	30.4	27.7	33.3	30.8	29.9			22.2	28.8	33.6	38.6
なこと	3. あまり感じない	47.5	47.5	47.4	48.9	45.3			54.5	48.5	45.3	39.7
なこと	4. まったく感じない	10.5	10.8	10.1	10.7	10.1			15.9	13.1	7.9	4.1
い力保得者に	1. しばしば感じる	12.3	15.7	8.9	12.6	11.9			12.2	10.6	14.4	11.5
い力保得者に	2. ときどき感じる	36.0	38.4	33.9	33.1	40.4			31.3	36.9	38.6	40.2
い力保得者に	3. あまり感じない	45.6	40.0	50.9	48.2	41.5			48.5	47.4	40.9	44.2
なが生	4. まったく感じない	6.1	5.9	6.3	6.1	6.2			8.0	5.1	6.1	4.1
なが生	1. しばしば感じる	7.2	7.7	7.0	6.1	9.0			4.3	5.6	7.5	11.8
なが生	2. ときどき感じる	40.6	38.9	42.3	38.9	43.2			30.7	38.4	43.8	53.0
なが生	3. あまり感じない	45.9	46.6	45.0	48.0	42.5			55.9	48.9	44.2	31.8
なが生	4. まったく感じない	6.3	6.8	5.7	7.0	5.3			9.1	7.1	4.5	3.4
て家	1. しばしば感じる	21.6	25.0	18.3	17.7	27.5			21.1	18.7	25.8	22.0
て家	2. ときどき感じる	44.6	39.0	50.3	44.5	44.8			43.0	40.4	45.7	48.9
て家	3. あまり感じない	30.7	32.0	29.3	35.0	24.2			32.2	37.4	25.8	26.4
て家	4. まったく感じない	3.1	4.0	2.1	2.8	3.5			3.7	3.5	2.7	2.7
導學	1. しばしば感じる	7.2	8.7	5.6	7.3	7.0			6.3	5.6	7.5	9.1
導學	2. ときどき感じる	30.8	33.4	28.2	27.9	35.2			26.5	29.3	31.3	37.2
導學	3. あまり感じない	54.4	50.4	58.5	56.7	51.0			56.9	56.5	54.4	49.0
導學	4. まったく感じない	7.6	7.5	7.7	8.1	6.8			10.3	8.6	6.8	4.7

(注) ※は10年以上的教職経験者のみ回答。

質問項目	全 体	地 域		性 別		経験年数					
		東京	北	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上
※ 専生活づき面でから指	1. しばしば感じる	16.1	17.3	14.8	14.5	18.5		14.2	13.7	20.0	16.2
	2. ときどき感じる	40.0	37.9	42.3	38.9	41.5		34.4	37.6	41.5	49.0
	3. あまり感じない	37.8	37.5	38.0	39.9	34.7		42.6	41.6	35.5	29.7
	4. まったく感じない	6.1	7.3	4.9	6.7	5.3		8.8	7.1	3.0	5.1
10 年 差生若い力	1. しばしば感じる	17.0	20.3	13.6	13.9	21.5		14.2	16.2	17.7	19.7
	2. ときどき感じる	33.7	33.4	34.1	33.1	34.7		30.7	27.3	32.5	43.0
	3. あまり感じない	45.4	41.2	49.5	49.1	39.8		48.3	51.4	47.2	35.9
	4. まったく感じない	3.9	5.1	2.8	3.9	4.0		6.8	5.1	2.6	1.4
前と比較	1. しばしば感じる	24.0	17.1	31.0	22.6	25.9		17.4	18.2	32.1	29.1
	2. ときどき感じる	38.5	34.1	42.9	39.7	37.0		38.2	33.8	39.2	40.8
	3. あまり感じない	33.4	42.0	24.7	32.5	34.7		39.6	42.4	26.4	26.4
	4. まったく感じない	4.1	6.8	1.4	5.2	2.4		4.8	5.6	2.3	3.7
まり徒がなまとい部活動がなまとい	1. しばしば感じる	18.3	19.3	17.3	16.8	20.7		17.4	15.7	19.6	20.9
	2. ときどき感じる	50.5	49.7	51.3	50.0	51.2		45.0	53.0	54.7	51.4
	3. あまり感じない	28.5	28.0	29.0	30.3	25.7		35.3	27.3	23.4	25.0
	4. まったく感じない	2.7	3.0	2.4	2.9	2.4		2.3	4.0	2.3	2.7
した生徒等の実態	1. しばしば感じる	7.7	10.1	5.2	7.8	7.4		10.3	6.1	6.8	6.8
	2. ときどき感じる	23.1	30.4	15.7	23.6	22.3		23.8	25.8	22.6	20.6
	3. あまり感じない	50.3	46.2	54.7	50.2	50.6		50.1	50.4	51.0	49.3
	4. まったく感じない	18.9	13.3	24.4	18.4	19.7		15.8	17.7	19.6	23.3
い生徒等の実態	1. しばしば感じる	10.1	14.0	6.2	8.8	12.0		10.5	7.6	10.2	11.6
	2. ときどき感じる	32.8	33.4	32.2	30.5	36.1		31.3	33.5	32.5	33.3
	3. あまり感じない	49.4	46.5	52.4	53.0	44.2		51.1	51.8	49.0	47.3
	4. まったく感じない	7.7	6.1	9.2	7.7	7.7		7.1	7.1	8.3	7.8
(注) ※は10年以上の教職経験者のみ回答。	1. しばしば感じる	38.4	39.4	37.5	34.2	44.8		33.8	38.4	46.4	36.4
	2. ときどき感じる	46.3	44.2	48.2	48.1	43.4		49.2	45.4	44.9	45.9
	3. あまり感じない	13.9	14.7	13.3	15.8	11.1		15.3	16.2	8.3	15.0
	4. まったく感じない	1.4	1.7	1.0	1.9	0.7		1.7	0.0	0.4	2.7
い生徒等の実態	1. しばしば感じる	19.7	22.3	17.0	18.4	21.6		18.3	14.6	22.3	23.0
	2. ときどき感じる	42.0	42.7	41.3	43.5	39.7		42.8	43.0	43.4	39.2
	3. あまり感じない	33.9	31.0	36.9	34.5	33.0		34.3	38.4	29.8	33.1
	4. まったく感じない	4.4	4.0	4.8	3.6	5.7		4.6	4.0	4.5	4.7
い生徒等の実態	1. しばしば感じる	32.3	36.0	28.5	30.2	35.3		27.7	29.8	35.8	36.8
	2. ときどき感じる	45.8	45.6	46.1	44.2	48.4		44.3	48.0	48.0	44.3
	3. あまり感じない	19.6	16.1	23.0	22.7	14.8		24.9	21.2	15.1	15.5
	4. まったく感じない	2.3	2.3	2.4	2.9	1.5		3.1	1.0	1.1	3.4

● 資料 2 基礎集計表

質問項目	全 体			東 京			北 男			性 別			1~4年			5~9年			10~14年			15~19年			20~29年			30年以上						
	東	京	東	京	東	京	男	女	男	女	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上	東	京	北	男	女	男	女	1~4年	5~9年	10~14年	15~19年	20~29年	30年以上			
性別	1. 男	58.1	58.6	57.5	100.0	—	32.6	62.7	65.7	64.3	46.8	61.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	2. 女	41.9	41.4	42.5	—	100.0	67.4	37.3	34.3	35.7	53.2	38.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
教職経験年数	1. 1~4年	8.7	2.8	13.4	4.9	13.9	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	2. 5~9年	19.0	14.8	22.4	20.5	16.9	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	3. 10~14年	23.2	25.8	21.0	26.2	18.8	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	4. 15~19年	12.8	17.7	8.9	14.2	10.8	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	5. 20~29年	17.2	18.1	16.5	14.0	21.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	6. 30年以上	19.1	20.8	17.8	20.2	17.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—		
担当教科	1. 保健体育	11.7	12.4	11.0	13.1	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7	14.2	9.6	14.0	11.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	2. 英語	12.1	11.8	12.3	8.9	16.5	20.3	15.6	20.3	15.6	10.1	9.1	10.9	10.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	3. 数学	13.4	13.7	13.1	17.5	7.7	9.7	17.6	17.6	17.6	14.2	14.2	17.6	10.2	9.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	4. 国語	15.1	12.9	17.3	10.6	21.6	14.2	14.2	14.2	14.2	13.1	16.2	19.2	14.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	5. 社会	14.3	15.2	13.7	19.9	6.6	11.9	13.9	13.9	13.9	17.2	14.1	12.5	14.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	6. 理科	13.9	14.6	13.2	16.8	9.8	13.4	11.2	13.4	11.2	13.1	15.7	13.6	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	7. 音楽	5.9	3.9	7.4	2.3	10.8	9.7	5.8	5.8	5.8	6.4	5.6	4.9	4.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	8. 美術	4.6	3.9	5.1	3.7	5.8	5.2	4.4	4.4	4.4	3.6	4.5	5.3	5.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	9. 家庭	2.4	4.1	1.0	0.0	5.7	2.2	1.7	1.7	1.7	3.4	2.0	3.4	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	10. 技術	6.6	7.5	5.9	7.2	5.8	3.7	6.4	6.4	4.7	5.6	6.0	11.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
得教員免許状取扱い	1. 教員養成大学・学部	32.7	23.9	39.9	34.4	30.4	37.8	32.5	32.5	32.5	22.8	31.2	36.3	40.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	2. 国公立大学	13.0	11.6	14.1	13.7	12.1	12.6	10.5	10.5	10.5	13.9	14.1	12.0	14.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	3. 私立大学	47.6	60.3	37.5	49.6	44.9	44.4	55.3	55.3	55.3	60.2	51.7	42.0	28.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	4. 短期大学	6.4	4.1	8.2	2.0	12.4	5.2	1.4	1.4	1.4	2.8	3.0	9.7	15.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	5. その他	0.3	0.1	0.3	0.3	0.2	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	1. 120人以下	7.0	3.1	10.1	7.4	6.4	18.0	9.9	9.9	4.2	6.6	6.4	3.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
現任教員の生徒数	2. 121~240人	7.0	4.4	9.1	7.8	5.9	9.0	6.8	7.0	5.1	5.7	8.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3. 241~360人	15.7	15.2	16.2	15.9	15.5	18.0	15.4	15.4	16.3	17.8	15.1	13.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	4. 361~480人	18.3	24.6	13.3	18.2	18.5	15.8	17.8	17.8	20.2	23.4	13.6	18.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5. 481~600人	23.4	31.4	17.0	21.8	25.6	15.0	21.9	21.9	22.2	24.8	27.2	25.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6. 601人以上	28.6	21.3	34.3	28.9	28.1	24.2	28.2	28.2	30.1	22.3	32.0	30.1	30.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1. 東京	44.4	100.0	—	44.9	43.7	14.1	34.6	34.6	49.6	61.3	48.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域	2. 東北	55.6	—	100.0	55.1	56.3	85.9	65.4	50.4	38.7	53.2	51.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	